

BIGLOBE クラウドストレージ

クライアントツール
リファレンスマニュアル



2024/7/1

変更履歴

版	発行年月日	改版内容	作成者
1.0	2014/02/12	初版	NECビッグローブ
1.1	2014/04/01	社名を変更	ビッグローブ
1.2	2016/02/17	サポートページの URL を変更	ビッグローブ
1.3	2019/05/22	各 Web サイトリンク先を修正	ビッグローブ
1.4	2019/09/03	FAQ リンク先を修正	ビッグローブ
1.5	2024/07/01	「1.9 MICROSOFT OFFICE ファイルを直接編集したい」を修正	ビッグローブ

目次

1	接続の設定	5
1.1	ネットワークドライブからクラウドストレージに接続したい	5
1.2	作成済みの接続先を変更したい	17
1.3	作成済みの接続先を削除したい	19
1.4	回線切断時に自動で再接続させたい	21
1.5	回線切断時のタイムアウト時間を設定したい	23
1.6	分割アップロードしたい	25
1.7	アップロードする際にファイルにパスワードを設定したい	27
1.8	ログを出力した	29
1.9	MICROSOFT OFFICE ファイルを直接編集したい	30
2	フォルダ・ファイルの設定	35
2.1	クラウドストレージ上のフォルダにアクセスしたい	35
2.2	WEB 公開したい/WEB 公開を停止したい	39
2.3	受取フォルダを作成したい/受取フォルダを停止したい	43
2.4	ファイルを読取専用にした/読取専用を解除したい	47
2.5	ファイルをロックしたい/ロックを解除したい	50
2.6	ファイル（フォルダ）設定情報を確認したい	53
3	その他	55
3.1	表示言語（英語・日本語）を変更したい	55
3.2	ヘルプを表示させたい	57
3.3	バージョン情報を確認したい	59

はじめに

本マニュアルは、BIGLOBE クラウドストレージにおいて「クライアントツール」を提供するにあたり、クライアントツールの操作方法について、実施したい項目別に記載するものです。

クライアントツールとは：

クライアントツールを使用することにより、クラウドストレージの領域をエクスプローラから操作することが可能になります。また、ブラウザを介さずに Web 公開や受取フォルダの作成や設定も可能になります。

・動作環境

最新版は Web サイトをご確認ください。

<https://biz.biglobe.ne.jp/storage/service.html>

・ログイン ID

ログイン ID について、コースおよび設定毎に以下のようになります。

コース	プライマリグループ機能の使用	ログイン ID
クラウドストレージ/クラウドストレージプラス	－	ユーザ ID@法人 ID
クラウドストレージ ST/HA	なし	ユーザ ID
	あり	ユーザ ID@プライマリグループ ID

・サポート情報

<https://bcst.sso.biglobe.ne.jp/bcst/>

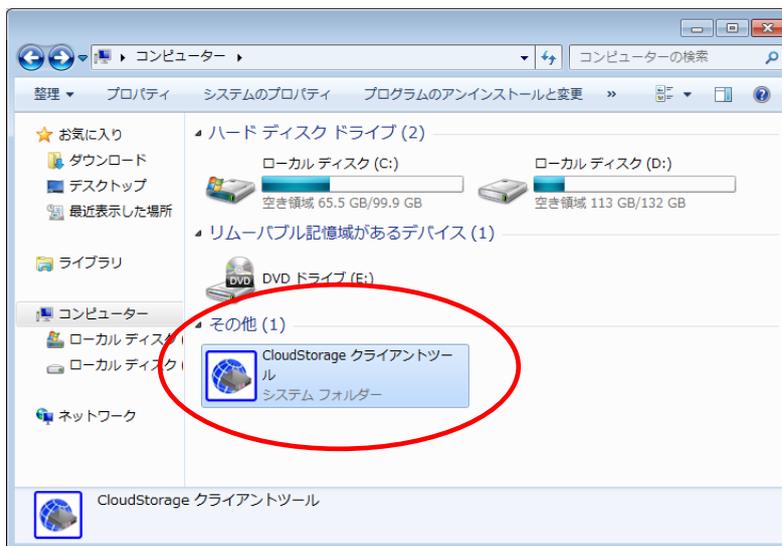
メンテナンスのお知らせなどの運用情報、サービス仕様書等、ご契約者様向けの情報を掲載していますので、適宜ご覧いただきますようお願いいたします。

1 接続の設定

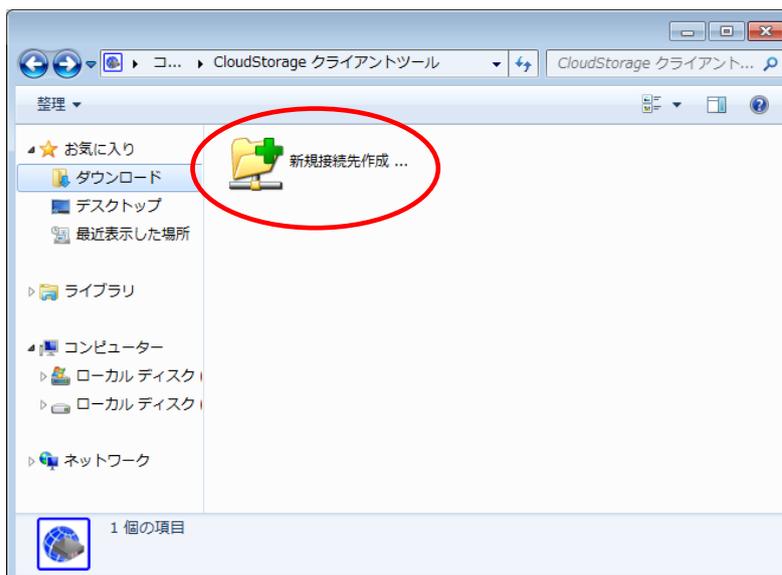
1.1 ネットワークドライブからクラウドストレージに接続したい

クライアントツールを使ってクラウドストレージへ接続するために、接続設定を行います。

- ・「スタート」 → 「コンピューター」 → その他「CloudStorage クライアントツール」をダブルクリックします。



- ・「新規接続先作成…」をダブルクリックします。



- ・「接続先の設定」画面が表示されますので、「接続」タブの以下の項目を入力します。

項目	説明
接続名	接続の名称（任意）
サーバーのアドレス	https から始まるユーザフォルダまたはグループフォルダのアドレス ※1
ユーザ ID とパスワードを保存する(チェックボックス)	入力したユーザ ID とパスワードを保存しておきたい場合は、チェックを入れておきます。
ユーザ ID	アクセスするログイン ID (**@****) ※2
パスワード	上記ログイン ID のパスワード
証明書ファイル名	記入不要 ※3

※1 ブラウザからアクセスする場合の URL とは異なりますので、以下のように指定してください。

クラウドストレージ(無料、有償)コース、クラウドストレージプラスコースの場合

https:// [ご利用サーバの URL] /ap/ [法人 ID] / [個人フォルダ名、またはグループフォルダ名]

([ご利用サーバの URL] は、ご契約ごとに異なります。)

例) ブラウザでログイン画面にアクセスする場合の URL が https://www.sample.jp/bmst/

法人 ID が [bmstaa01]、個人フォルダが [taro] の場合

https://www.sample.jp/ap/bmstaa01/taro

クラウドストレージ ST/HA でプライマリグループを使用しない場合

https:// [ご利用サーバの URL] /ap/ [個人フォルダ名、またはグループフォルダ名]

例) 個人フォルダが [taro] の場合

https://www.sample.jp/ap/taro

クラウドストレージ ST/HA でプライマリグループを使用する場合

https:// [ご利用サーバの URL] /ap/ [プライマリグループ名] / [個人フォルダ名、またはグループフォルダ名]

名]

例) プライマリグループ名が [pri01]、個人フォルダが [taro] の場合

https://www.sample.jp/ap/pri01/taro

※2 「ユーザ ID@法人 ID」がログイン ID となります。

クラウドストレージ ST/HA でプライマリグループを使用しない場合は、「ユーザ ID」がログイン ID となります。

※3 「証明書ファイル名」の項目は、クライアント認証機能を使用する場合に記入します。

クライアント認証機能を利用できるのは、クラウドストレージ ST/HA コースをご契約の場合となります。

特に指定のない場合、この項目の入力は不要です。

「クライアント認証を行う」のチェックボックスのチェックも不要です。

・プロキシを使用している場合は「プロキシ」タブを設定します。

注) 「プロキシ」タブの設定は必ずしも行う必要はありません。

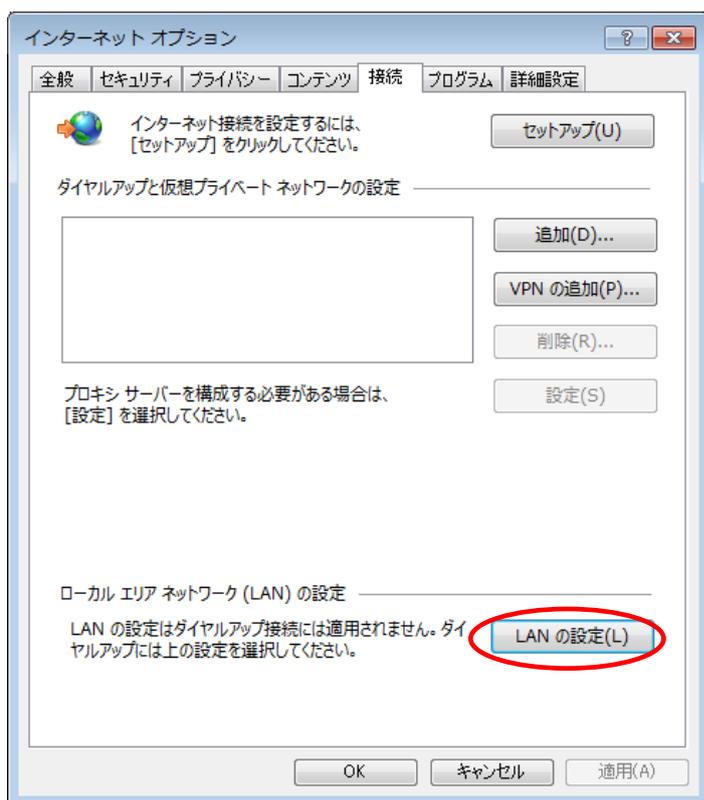
設定する必要があるかどうか、どのような値を設定するかは、お客様社内の情報システム部やネットワーク管理者にご確認ください。

・プロキシサーバーの確認

ここでは、例として Internet Explorer® 11.0 のプロキシサーバーの確認方法を解説します。

Internet Explorer を立ち上げ、メニューバーの「ツール」→「インターネットオプション」をクリックして、

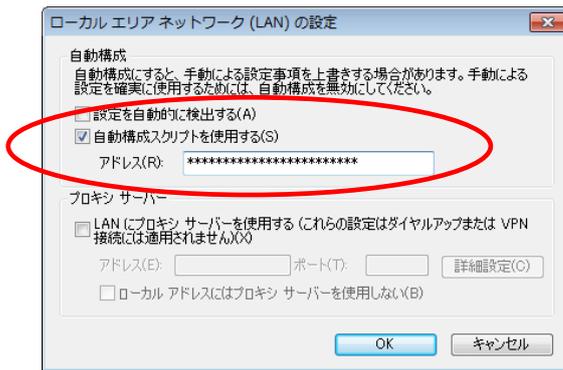
「インターネット オプション」の「接続」タブを開いて「LAN の設定」ボタンを押します。



・ローカル エリア ネットワーク (LAN) の設定

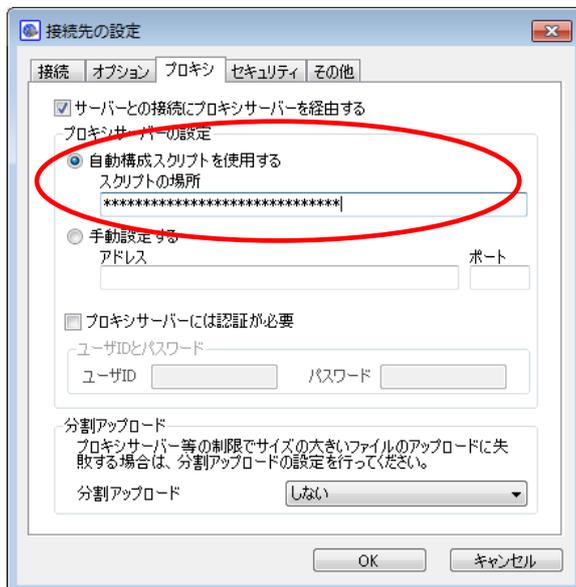
* 「自動構成」の「自動構成スクリプトを使用する」にチェックがあり、アドレス欄に入力されている

アドレスがある場合



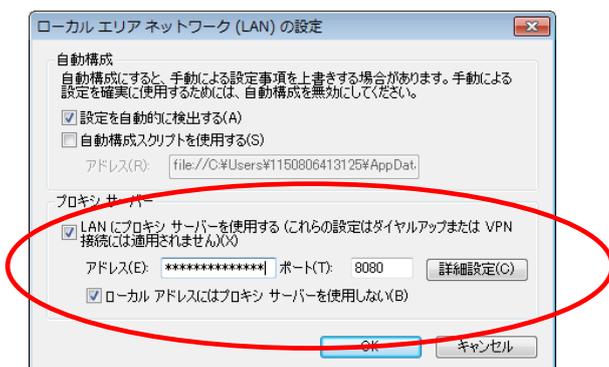
⇒ 「プロキシ」タブの「サーバーとの接続にプロキシサーバーを経由する」をチェックし、

「自動構成スクリプトを使用する」の「スクリプトの場所」に Internet Explorer と同じアドレスを入力



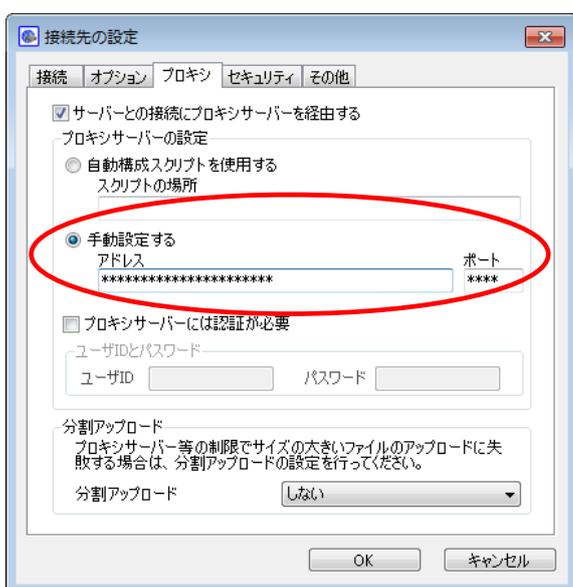
* 「プロキシ サーバー」の「LAN にプロキシ サーバーを使用する（これらの設定はダイヤルアップまたは

VPN 接続には適用されません）」にチェックがあり、アドレス欄、ポート欄に記載がある場合



⇒「プロキシ」タブの「サーバーとの接続にプロキシサーバーを経由する」をチェックし、

「手動設定する」のアドレス欄とポート欄に Internet Explorer と同じアドレスとポートを入力

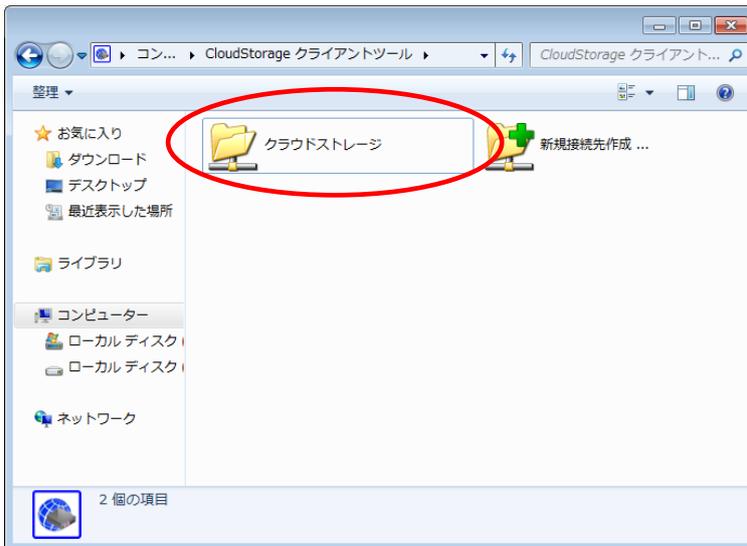


補足)

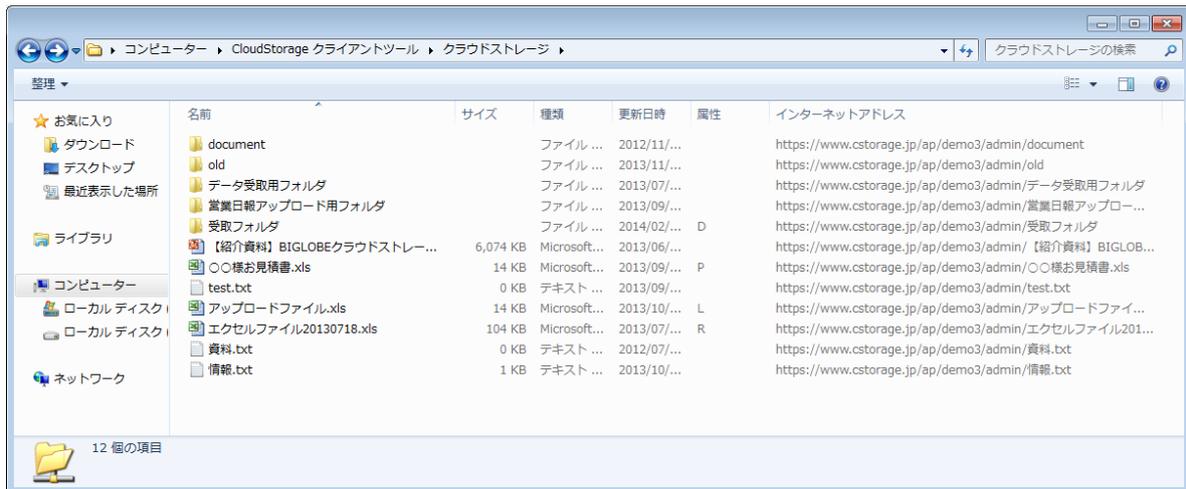
- ・プロキシサーバーに認証が必要な場合は、「プロキシサーバーには認証が必要」チェックボックスをチェックし、ユーザ ID とパスワードを入力します。
- ・プロキシサーバー等の制限で、サイズの大きいファイルのアップロードに失敗する場合は、分割アップロードを設定します。特に問題がない場合は、変更する必要はありません（規定値：「しない」）。
- ・お客様のネットワーク環境については、お客様社内の情報システム部やネットワーク管理者にご確認ください。
- ・「接続」タブ、「プロキシ」タブの必要項目を入力後、「接続」タブの「接続テスト」ボタンを押します。接続テストに成功したら「OK」ボタンを押して、接続先の設定を終了します。



- ・「CloudStorage クライアントツール」フォルダに作成した接続が作成されていますので、ダブルクリックします。



- ・「接続先サーバーアドレス」に記載したクラウドストレージのフォルダが表示されます。



「属性」列には、そのフォルダやファイルの持つ属性情報がアルファベットで表示されます。

属性	説明
P	Web 公開が設定されているフォルダ、もしくはファイルです。
D	受取フォルダに設定されているフォルダです。
R	読取専用を設定されているファイルです。
L	ロック設定がされているファイルです。

※接続テストに失敗した場合の考えられる原因と対処法

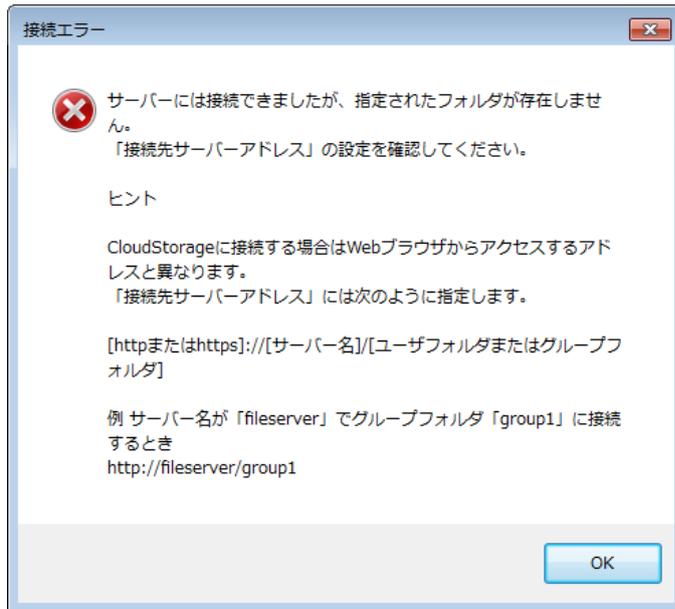
・接続エラー パターン①



考えられる原因：接続先サーバーアドレスが間違っているため、対象のフォルダに接続できていない可能性があります。

対処方法：「サーバーのアドレス」の「https:// [ご利用サーバの URL] /ap/ (接続エラー表示内の[サーバ名]にあたります)」の部分に誤りがないか、再度ご確認ください。

・接続エラー パターン②



考えられる原因：クラウドストレージのサーバーには接続できていますが、「法人 ID(プライマリ G)」や

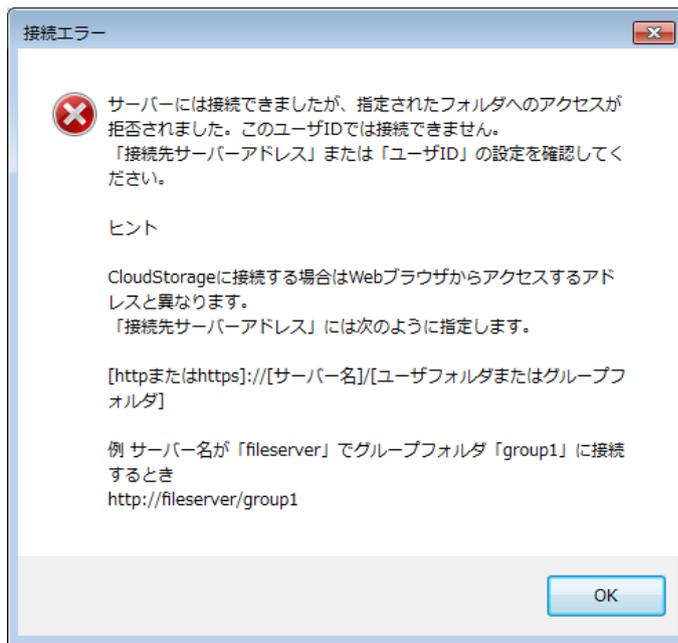
「個人フォルダ名、またはグループフォルダ名」が間違っているためアクセスできていない

可能性があります。

対処方法：「サーバーのアドレス」の「https:// [ご利用サーバの URL] /ap/~」の「/ap/より後ろ」の部分に

誤りがないか、再度ご確認ください。

・接続エラー パターン③



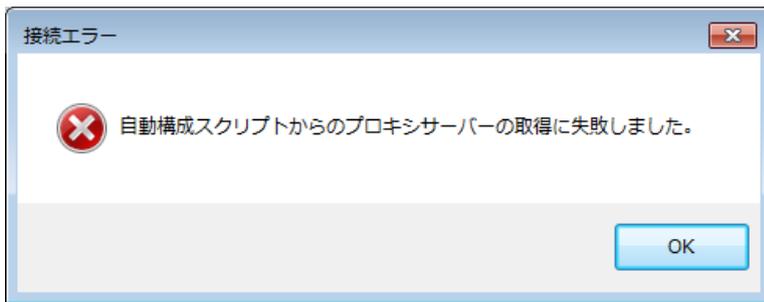
考えられる原因：クラウドストレージのサーバーには接続できていますが、「ユーザ ID」に指定したログイン ID

ではアクセス権のないフォルダを指定している可能性があります。

対処方法：アクセス権のないグループフォルダ名やユーザフォルダ名を指定していないか、再度ご確認ください。

・接続エラー パターン④



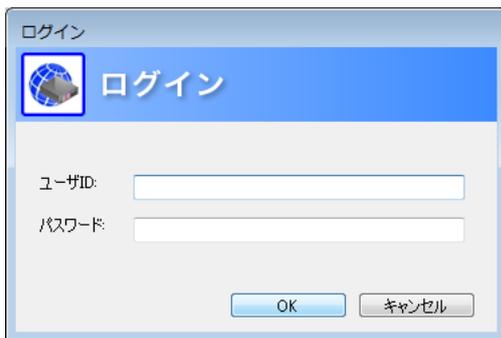


考えられる原因 : クラウドストレージのサーバーへ接続できていません。「プロキシ」タブに設定している

「スクリプトの場所」や「アドレス」の値に誤りがある可能性があります。

対処方法 : 「プロキシ」タブに設定する「スクリプトの場所」や「アドレス」の値については、お客様社内のネットワーク環境により異なりますので、お客様社内の情報システム部やネットワーク管理者にご確認ください。

・「ログイン画面」が表示される



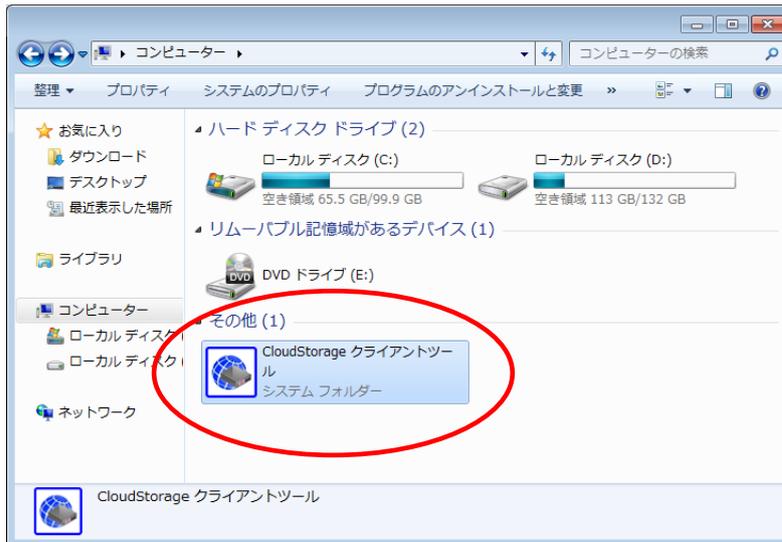
考えられる原因 : ログイン ID、もしくはパスワードに誤りがある可能性があります。

対処方法 : ログイン ID、パスワードを正しく指定しているか、再度ご確認ください。

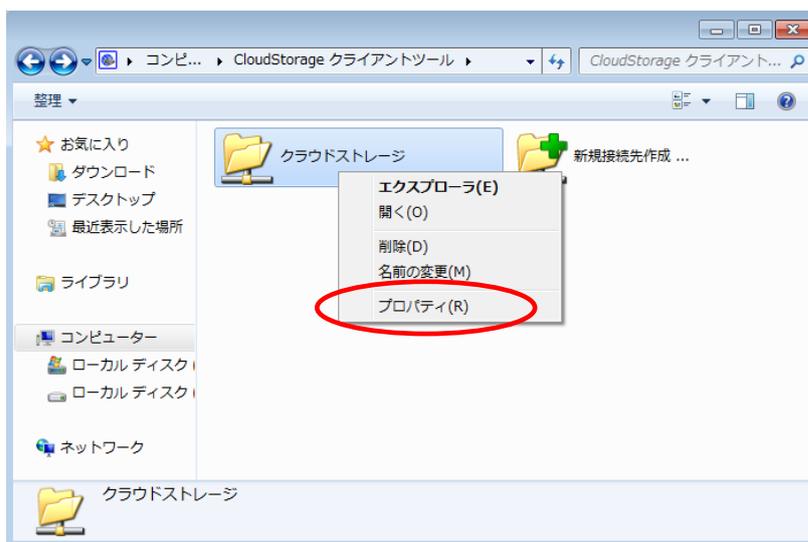
1.2 作成済みの接続先を変更したい

すでに作成済みの接続先設定の内容を変更することができます。

- ・「スタート」→「コンピューター」→その他「CloudStorage クライアントツール」をダブルクリックします。



- ・設定を変更したい接続先の上で右クリックし、「プロパティ」を選択します。



- ・設定を変更したい項目を変更し、「OK」をクリックします。

接続先の設定

接続 オプション プロキシ セキュリティ その他

接続名
クラウドストレージ

接続先サーバーアドレス
https://*****/ap/****/****/

ユーザIDとパスワードを記録する

ユーザIDとパスワード

ユーザID *****@****|

パスワード *****

接続テスト

クライアント認証を行う

証明書ファイル名

参照...

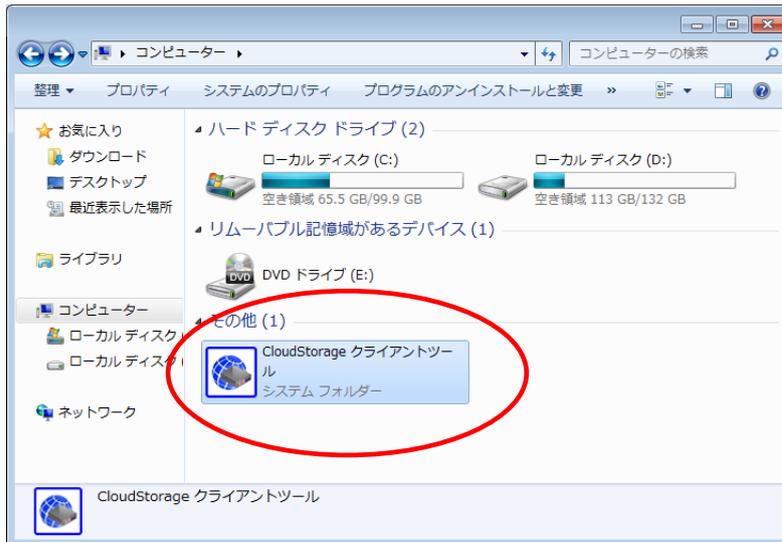
OK

キャンセル

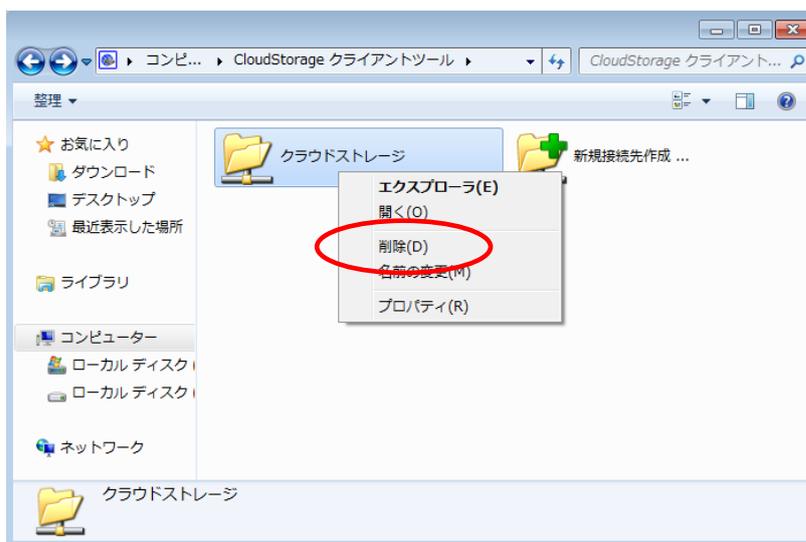
1.3 作成済みの接続先を削除したい

作成済みの接続先設定を削除することができます。

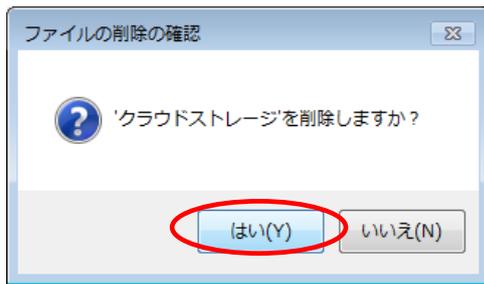
- ・「スタート」→「コンピューター」→その他「CloudStorage クライアントツール」をダブルクリックします。



- ・設定を変更したい接続先の上で右クリックし、「削除」を選択します。



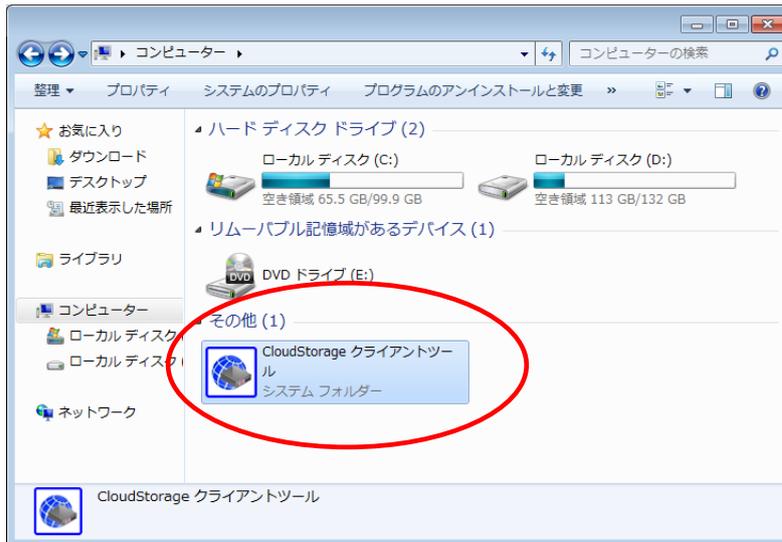
- ・確認画面が表示されますので、削除してもよければ「はい」をクリックします。



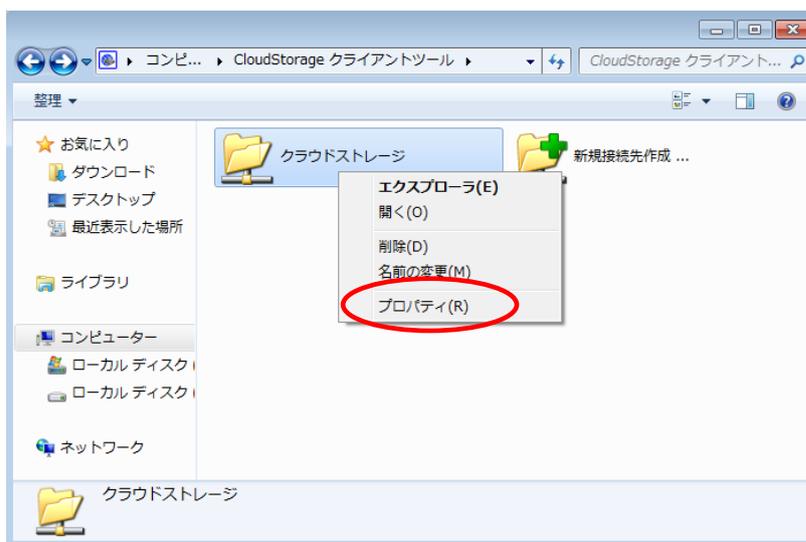
1.4 回線切断時に自動で再接続させたい

一時的にインターネット接続が切断された場合に、再接続設定をすることができます。

- ・「スタート」→「コンピューター」→その他「CloudStorage クライアントツール」をダブルクリックします。



- ・設定したい接続先の上で右クリックし、「プロパティ」を選択します。



- ・「接続先の設定」画面の「オプション」タブを選択します。

The screenshot shows the '接続先の設定' (Connection Settings) dialog box with the 'オプション' (Options) tab selected. The '接続' (Connection) tab is also visible and circled in red. The dialog contains the following fields and controls:

- 接続名: クラウドストレージ
- 接続先サーバーアドレス: https://*****/ap/****/****/
- ユーザIDとパスワードを記録する
- ユーザIDとパスワード:
 - ユーザID: *****@****|
 - パスワード: *****
 - 接続テスト (button)
- クライアント認証を行う
- 証明書ファイル名: (empty field)
- 参照... (button)
- OK (button)
- キャンセル (button)

- ・「再試行オプション」にある「回線切断時に自動で再接続する」にチェックし、「試行間隔」、「再試行上限」を指定します。設定を終了したら、「OK」をクリックします。

(初期値では、試行間隔 10 秒、再試行上限 3 回となっています。)

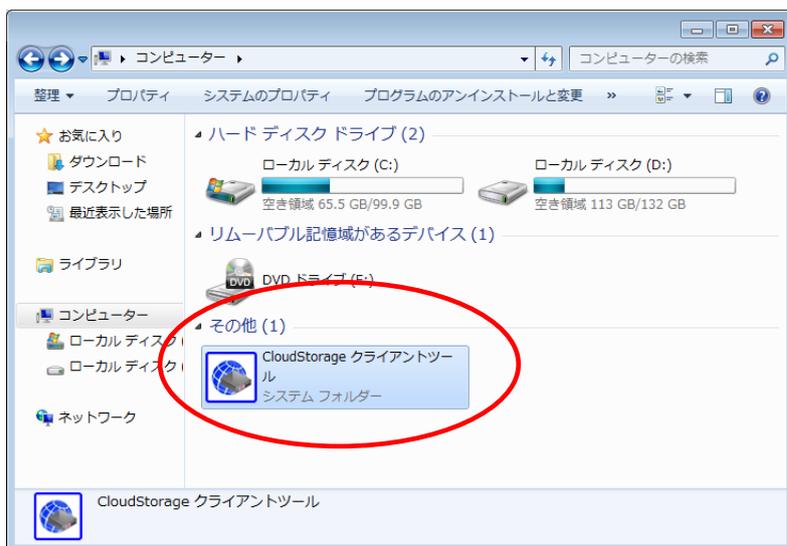
The screenshot shows the '接続先の設定' (Connection Settings) dialog box with the 'オプション' (Options) tab selected. The '再試行オプション' (Retry Options) section is circled in red. The dialog contains the following fields and controls:

- 接続: オプション (selected), プロキシ, セキュリティ, その他
- 再試行オプション:
 - 回線切断時に自動で再接続する
 - 試行間隔: 10 秒
 - 再試行上限: 3 回
- タイムアウト:
 - 一覧取得時: 20 秒
 - その他: 100 秒
- OK (button)
- キャンセル (button)

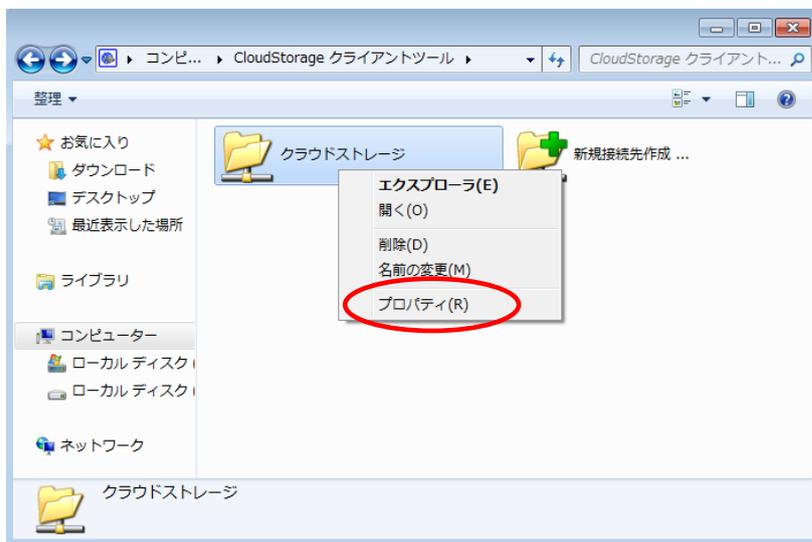
1.5 回線切断時のタイムアウト時間を設定したい

同期動作中に一定時間応答がない場合は処理を終了させることができます。

- ・「スタート」→「コンピューター」→その他「CloudStorage クライアントツール」をダブルクリックします。



- ・設定したい接続先の上で右クリックし、「プロパティ」を選択します。



- ・「接続先の設定」画面の「オプション」タブを選択します。

The screenshot shows the '接続先の設定' (Connection Settings) dialog box with the 'オプション' (Options) tab selected. The '接続' (Connection) tab is also visible and circled in red. The dialog contains the following fields and controls:

- 接続名: クラウドストレージ
- 接続先サーバーアドレス: https://*****/ap/****/****/
- ユーザIDとパスワードを記録する
- ユーザIDとパスワード:
 - ユーザID: *****@****|
 - パスワード: *****
 - 接続テスト (button)
- クライアント認証を行う
- 証明書ファイル名: (empty field)
- 参照... (button)
- OK (button)
- キャンセル (button)

- ・「タイムアウト」にある「一覧取得時」、「その他」を指定します。設定を終了したら、「OK」をクリックします。

(初期値では、一覧取得時 20 秒、その他 100 秒となっています。)

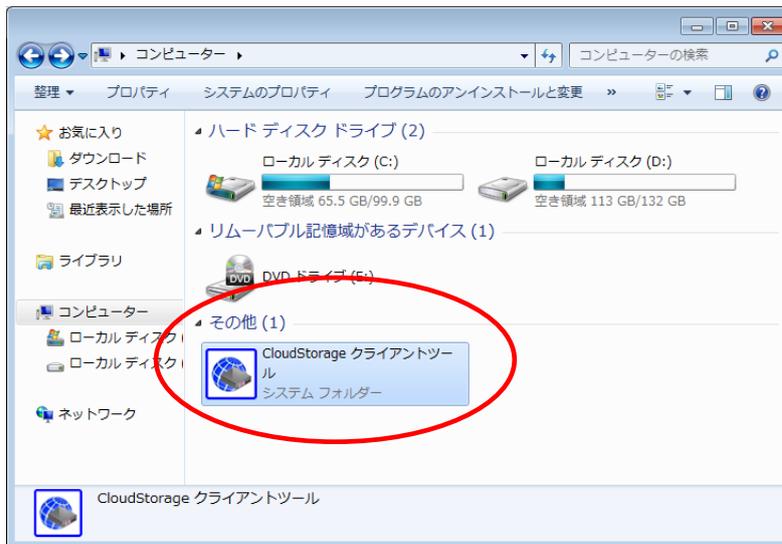
The screenshot shows the '接続先の設定' (Connection Settings) dialog box with the 'オプション' (Options) tab selected. The 'タイムアウト' (Timeout) section is circled in red. The dialog contains the following fields and controls:

- 再試行オプション:
 - 回線切断時に自動で再接続する
 - 試行間隔: 10 秒
 - 再試行上限: 3 回
- タイムアウト:
 - 一覧取得時: 20 秒
 - その他: 100 秒
- OK (button)
- キャンセル (button)

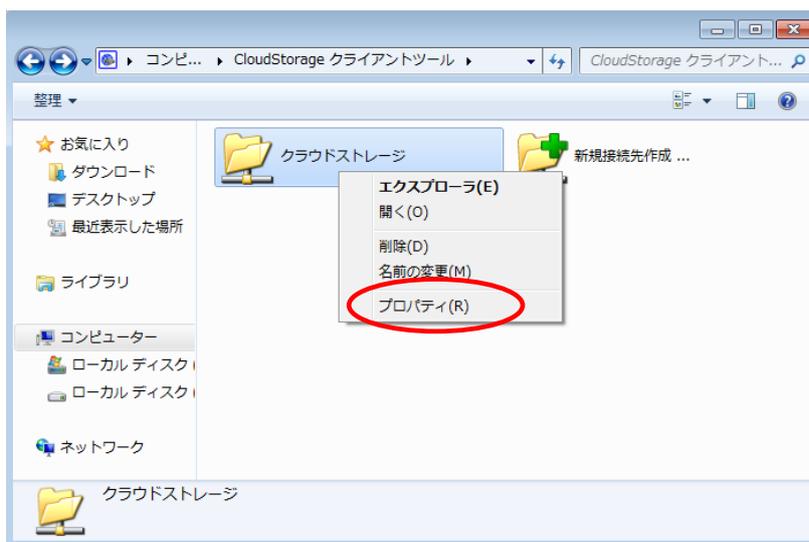
1.6 分割アップロードしたい

プロキシサーバー等の制限で、サイズの大きいファイルのアップロードに失敗するといった場合には分割アップロードの設定をすることができます。

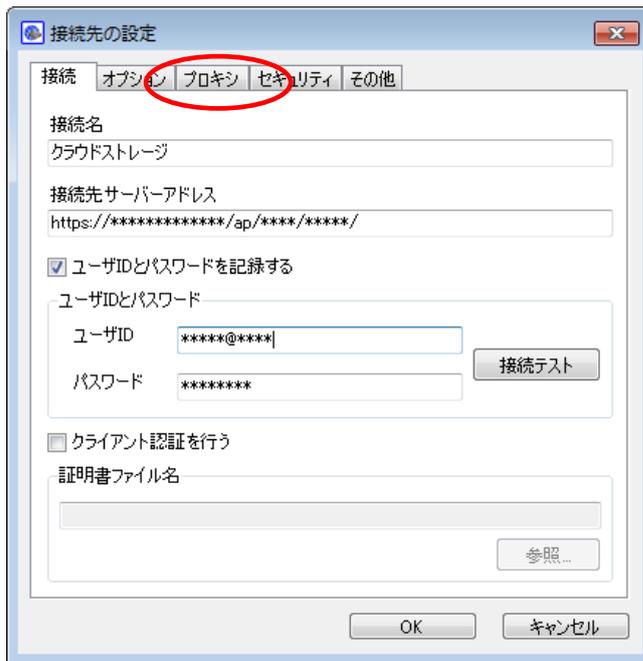
- ・「スタート」→「コンピューター」→その他「CloudStorage クライアントツール」をダブルクリックします。



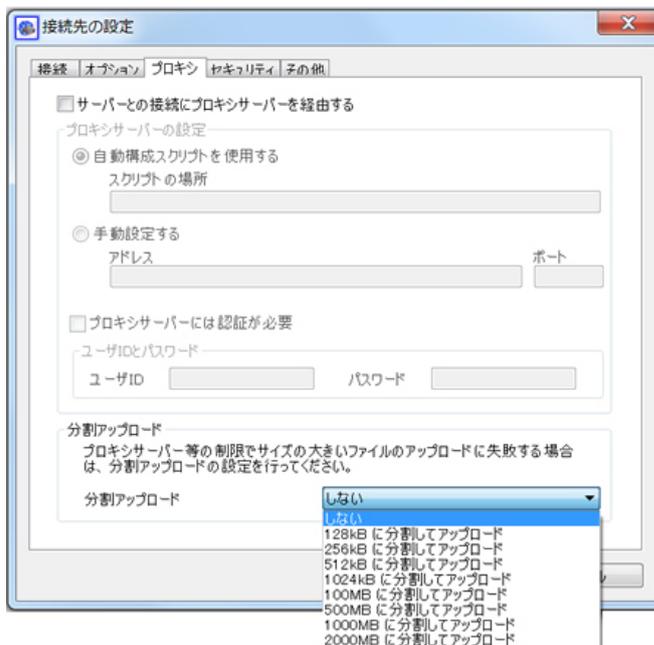
- ・設定したい接続先の上で右クリックし、「プロパティ」を選択します。



- ・「接続先の設定」画面の「プロキシ」タブを選択します。



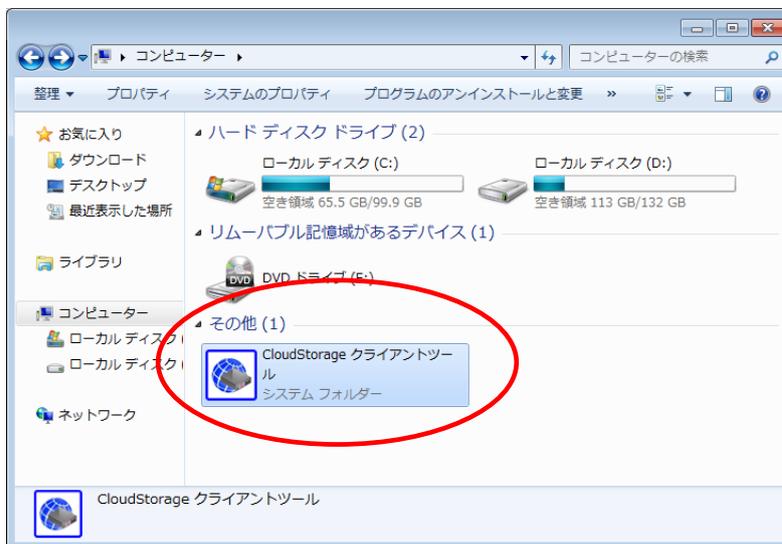
- ・「分割アップロード」の選択肢の中から分割容量を選択し、「OK」をクリックしてください。



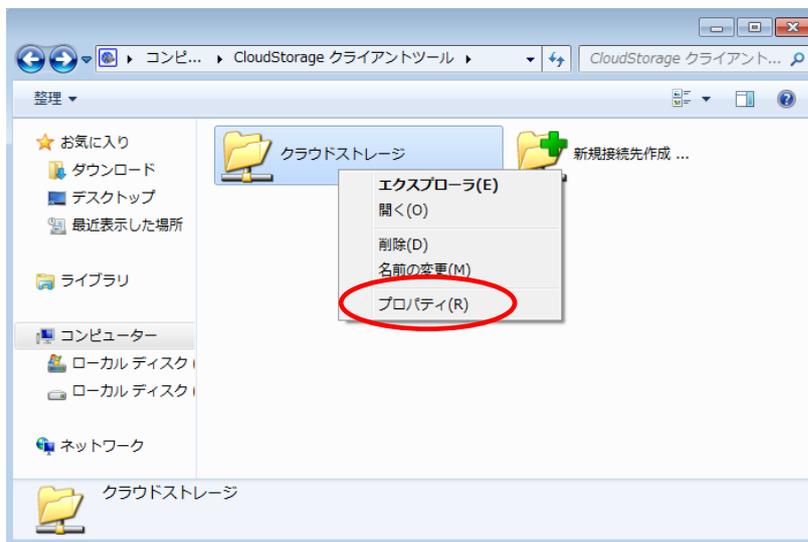
1.7 アップロードする際にファイルにパスワードを設定したい

クライアントツールを使ってパソコンからクラウドストレージにファイルをアップロードする際にパスワードを設定することができます。この機能を利用すると、「クライアントツール」で同じパスワードを指定してダウンロードしない限り、ファイルの内容を読み取ることができなくなります。

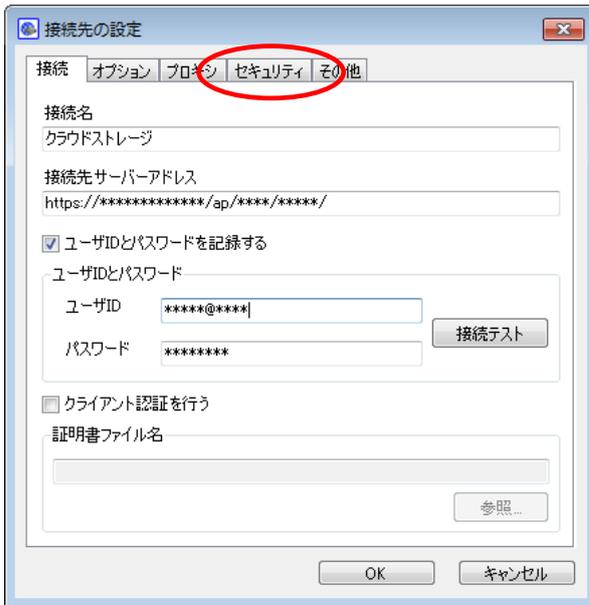
- ・「スタート」→「コンピューター」→その他「CloudStorage クライアントツール」をダブルクリックします。



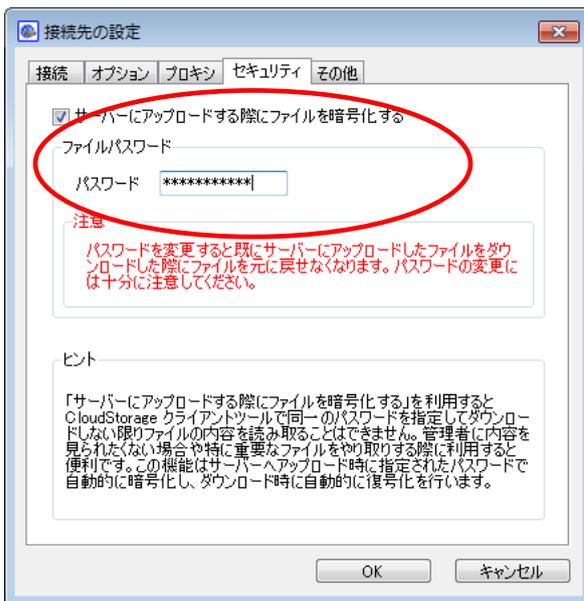
- ・設定したい接続先の上で右クリックし、「プロパティ」を選択します。



- ・「接続先の設定」画面の「セキュリティ」タブを選択します。



- ・ 「サーバーにアップロードする際にファイルを暗号化する」にチェックを入れ、パスワードを指定して、「OK」をクリックします。

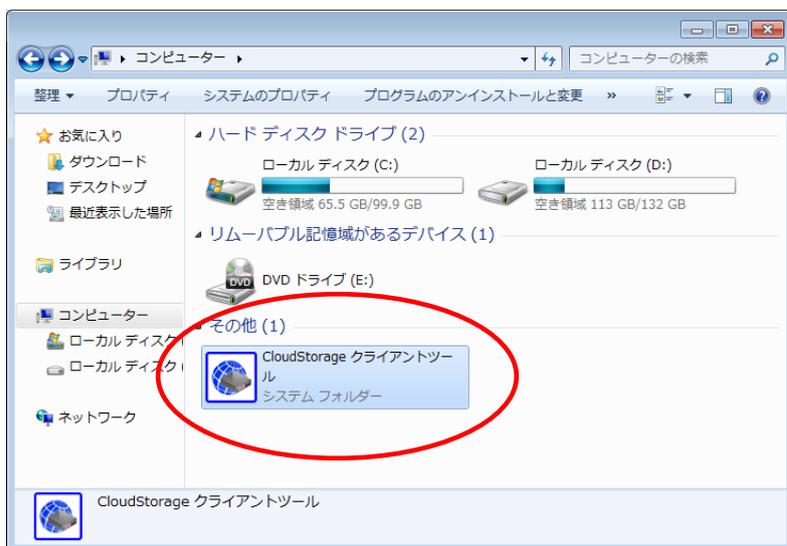


設定したパスワードを後から確認する方法はありません。パスワードは間違っても入力しないよう、充分にご注意ください。利用途中でパスワードを変更した場合、変更前のパスワードで既にクラウドストレージにアップロードされているファイルを開けなくなる場合がありますので、パスワードの変更には十分注意してください。

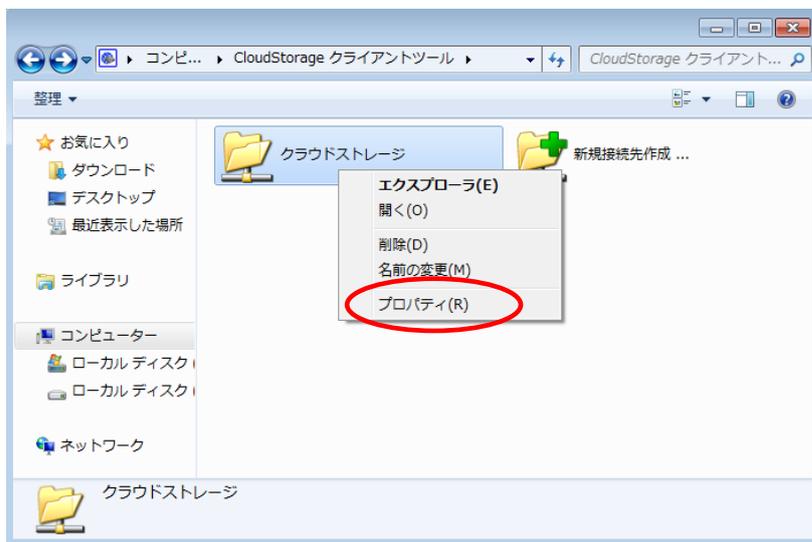
1.8 ログを出力した

初期設定ではログの出力は OFF になっていますが、調査などのためにログを出力させることができます。

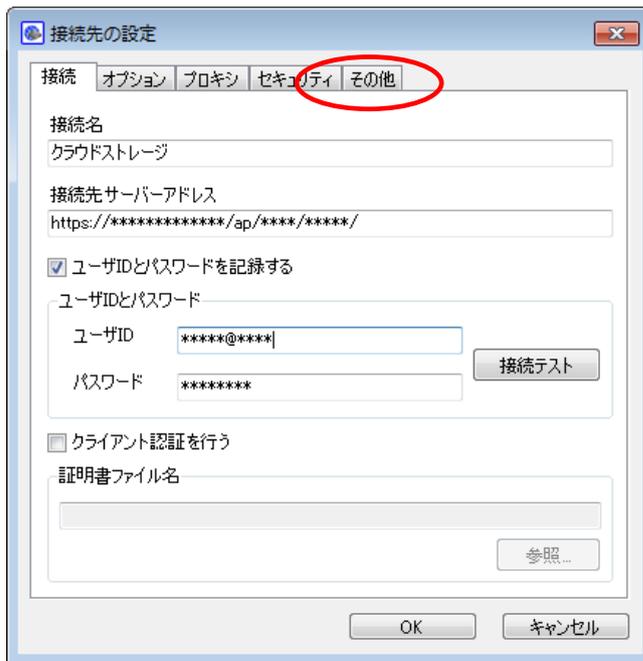
- ・「スタート」 → 「コンピューター」 → その他「CloudStorage クライアントツール」をダブルクリックします。



- ・設定したい接続先の上で右クリックし、「プロパティ」を選択します。

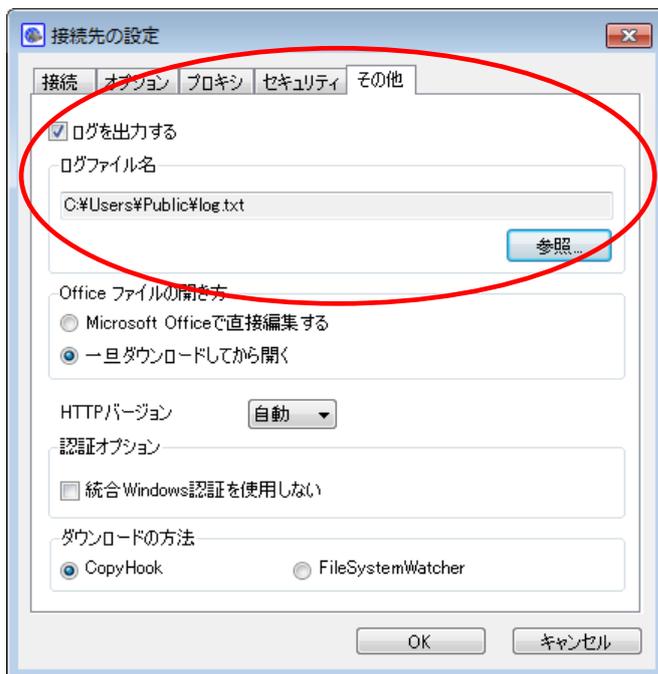


- ・「接続先の設定」画面の「その他」タブを選択します。



- ・ログを出力する場合は、「ログを出力する」にチェックをし、「ログファイル名」を指定します。

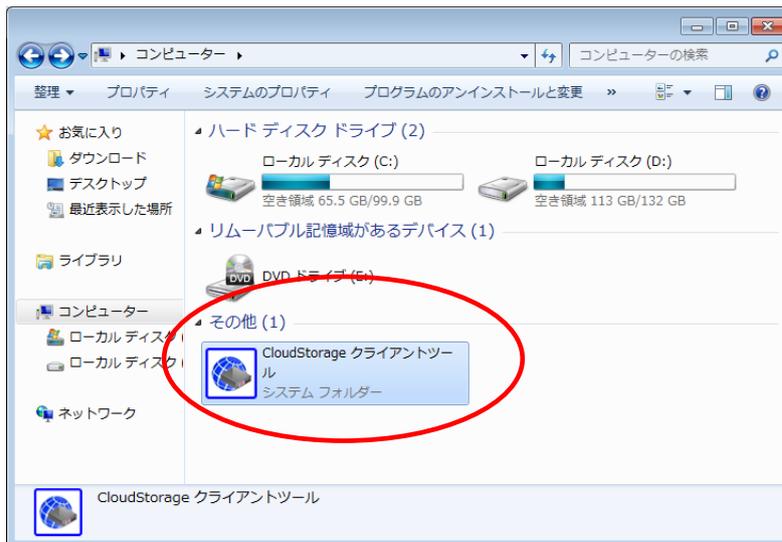
設定を終了したら、「OK」をクリックします。



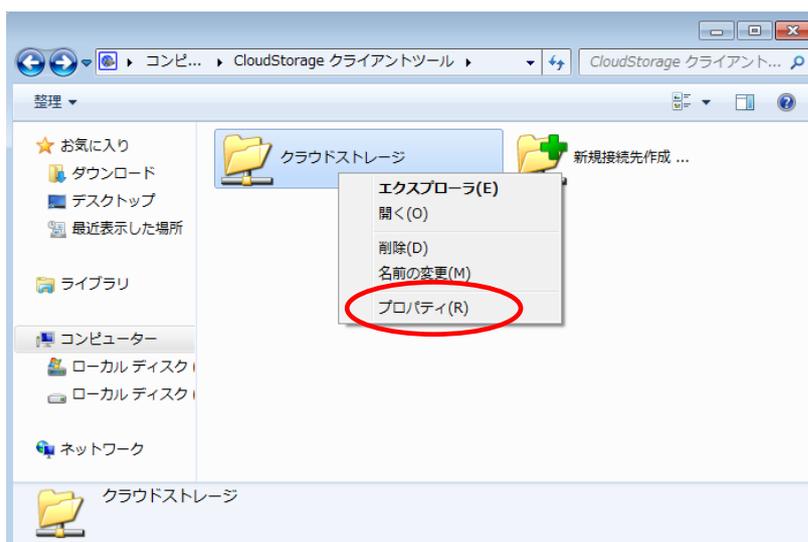
「その他」タブの「HTTPバージョン」、「認証オプション」、「ダウンロードの方法」については、初期値のまま変更する必要はありません。

クライアントツールでクラウドストレージ上のファイルにアクセスした場合、基本的には一旦パソコン上に対象のファイルを保存し、参照/編集終了後、クラウドストレージ上のファイルも同じように変更するかどうかを確認されますが、Microsoft Office ファイルについては、直接ファイルを開き、編集することもできます。

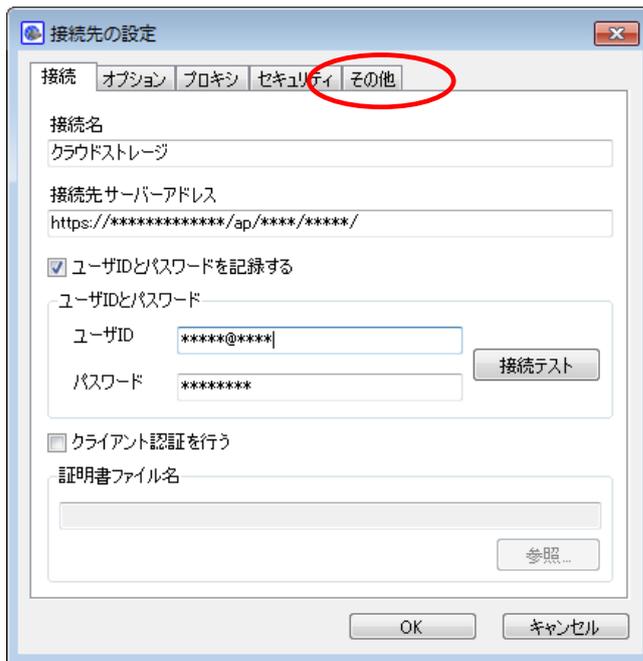
- ・「スタート」→「コンピューター」→その他「CloudStorage クライアントツール」をダブルクリックします。



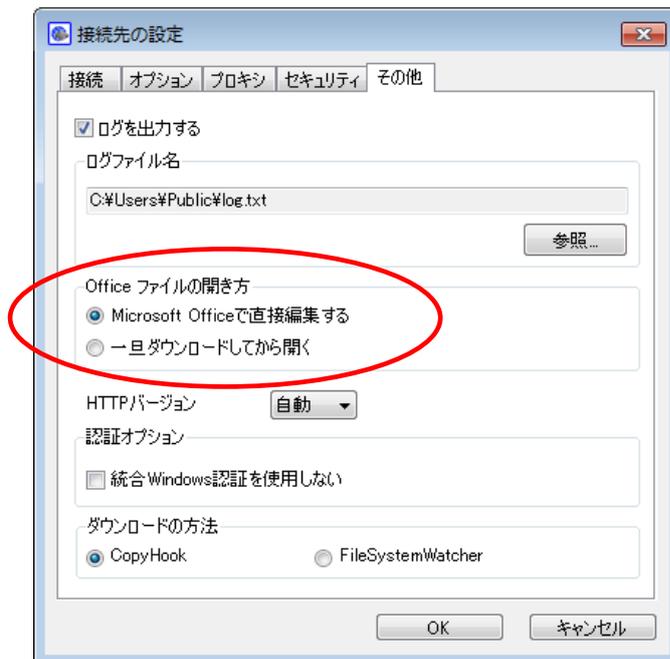
- ・設定したい接続先の上で右クリックし、「プロパティ」を選択します。



- ・「接続先の設定」画面の「その他」タブを選択します。

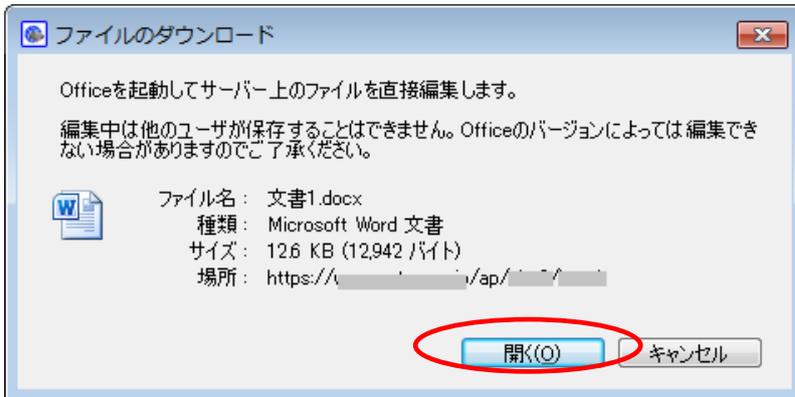


- ・「Office ファイルの開き方」で、「Microsoft Office で直接編集する」を選択し、「OK」をクリックします。



・次に設定したクライアントツールの接続からクラウドストレージにアクセスし、Microsoft Office ファイルを開くと

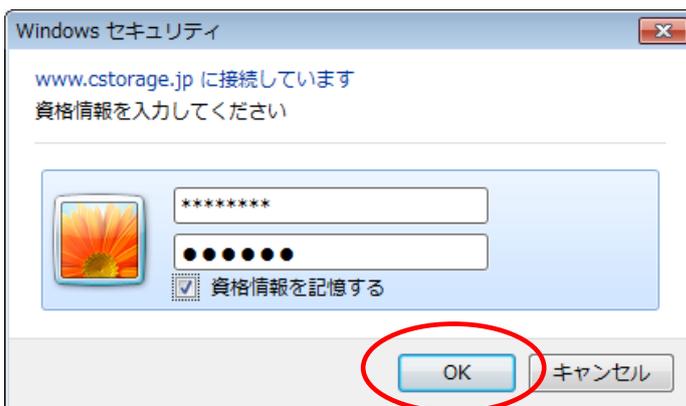
以下の確認画面が表示されます。問題なければ「開く」をクリックします。



・初めてこの機能を使ってアクセスしたファイルの場合は、以下の資格情報入力画面が表示されます。

アクセスに使用するクラウドストレージのログイン ID とパスワードを入力し、次回以降も同じログイン ID と

パスワードでアクセスする場合は、「資格情報を記憶する」にチェックをして「OK」をクリックします。



・しばらくするとファイルが開きます。

※「Microsoft Office で直接編集する」を選択した場合、以下の点にご注意ください。



・「一旦ダウンロードしてから開く」時に比べて、ファイルを開くまでに時間がかかる場合があります。

・ファイルを開く度に認証を求められる場合がありますが、直接編集機能は Office ソフトに含まれる WebDAV 機能を用いて実現しているため、Microsoft Office 側の仕様となりますので、あらかじめご了承ください。

・Microsoft 側の仕様変更により、お客様の環境によっては、アクセスがブロック/拒否された旨のメッセージが表示され、Office ファイルを開けない事象を確認しています。その場合は、「一旦ダウンロードしてから開く」に設定を変更の上ご使用ください。

表示されるエラーメッセージ：「ソースがセキュリティで保護されていない可能性のあるサインイン方法を使用しているため、Microsoft Office は"https://www.cstorage.jp/ap/***/"へのアクセスをブロックしました。このファイルの安全性を高める方法については、IT サポートにお問い合わせください。」

参考： Microsoft 365 Apps と Office の展開に関するドキュメント > 展開 > 作業の開始 > 新機能 > 2022 年 11 月 「Microsoft 365 Apps で既定でブロックされるように求める基本認証プロンプト」

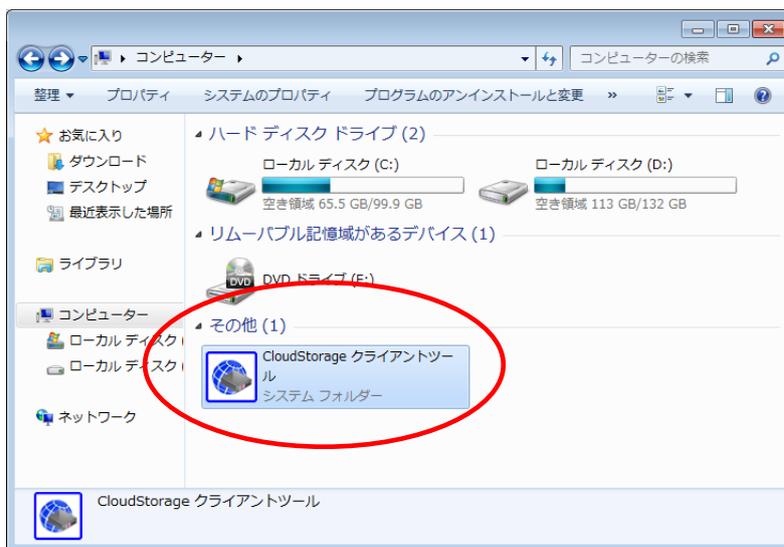
<https://learn.microsoft.com/ja-jp/DeployOffice/>

2 フォルダ・ファイルの設定

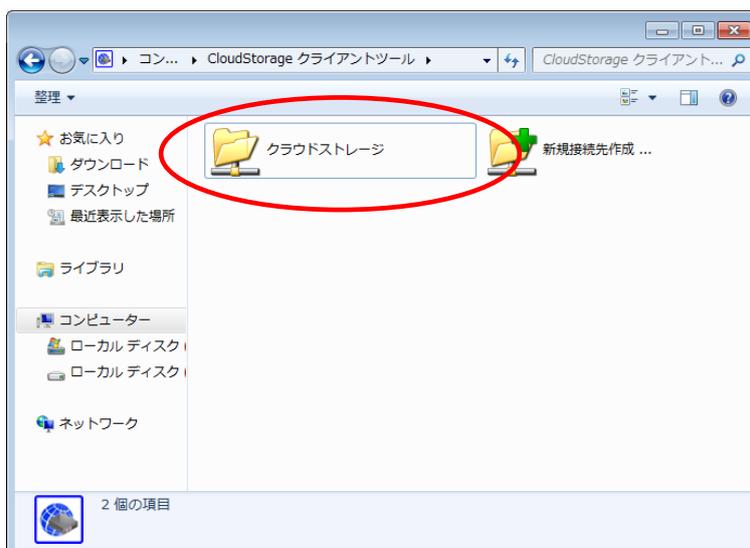
2.1 クラウドストレージ上のフォルダにアクセスしたい

クライアントツールを使って、クラウドストレージのフォルダにアクセスします。

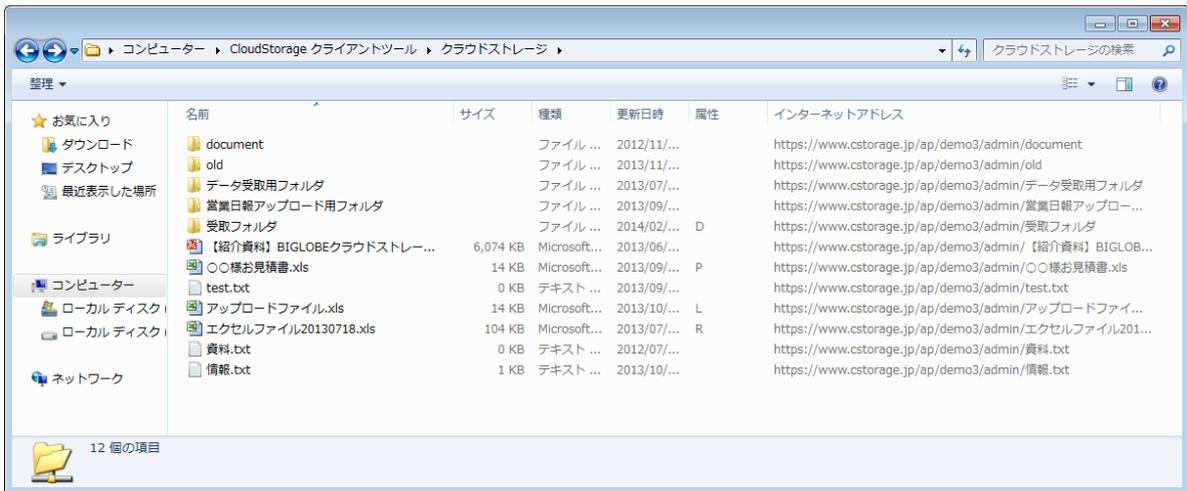
- ・「スタート」→「コンピューター」→その他「CloudStorage クライアントツール」をダブルクリックします。



- ・接続したい接続先をダブルクリックします。



- ・接続先のクラウドストレージのフォルダが表示されます。

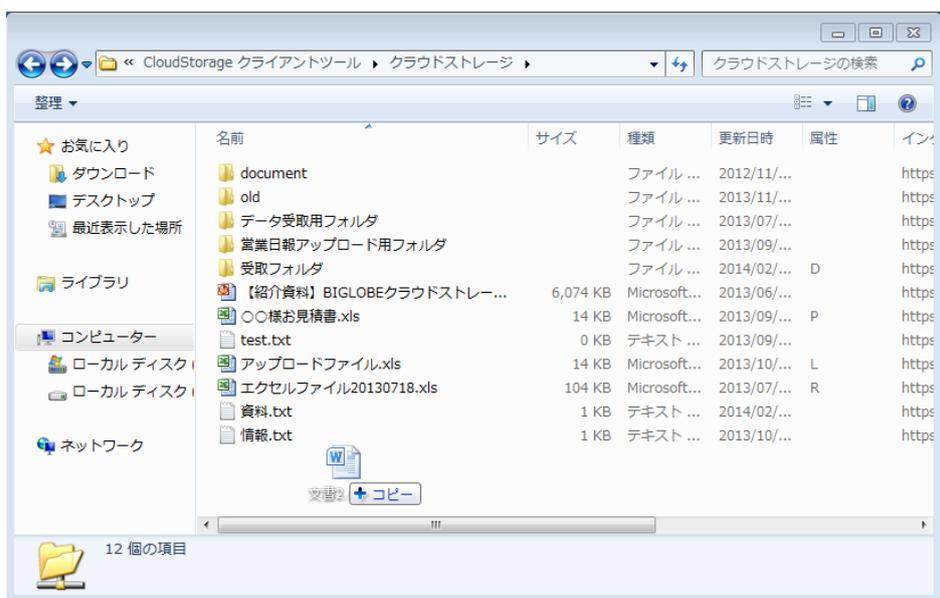


「属性」列には、そのフォルダやファイルの持つ属性情報がアルファベットで表示されます。

属性	説明
P	Web 公開が設定されているフォルダ、もしくはファイルです。
D	受取フォルダが設定されているフォルダです。
R	読取専用を設定されているファイルです。
L	ロック設定がされているファイルです。

・クラウドストレージにファイルをアップロードする場合、マウスでファイルやフォルダをドラッグし、クラウドストレージのフォルダヘッドロップしたり、右クリックしてコピー（切り取り）&貼り付けでコピー（移動）したりすることができます。（通常のマウス操作と同様です。）

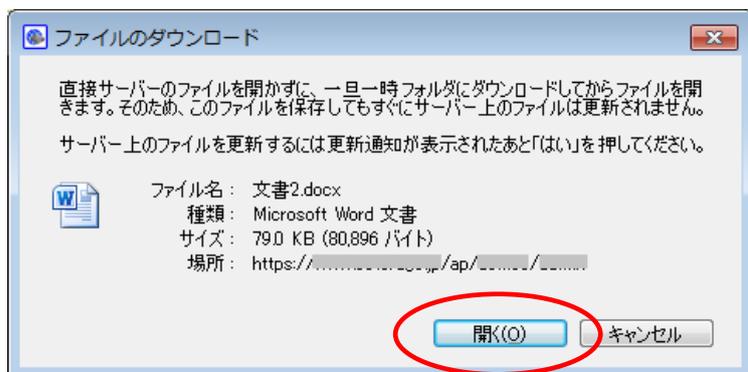
アップロードと同様に、クラウドストレージからファイルをダウンロードする場合、マウスでファイルやフォルダをドラッグし、パソコン上へドロップしたり、右クリックしてコピー（切り取り）&貼り付けでコピー（移動）したりすることができます。（通常のマウス操作と同様です。）



・クラウドストレージ上のファイルを参照・編集する場合、対象のファイルをダブルクリックします。

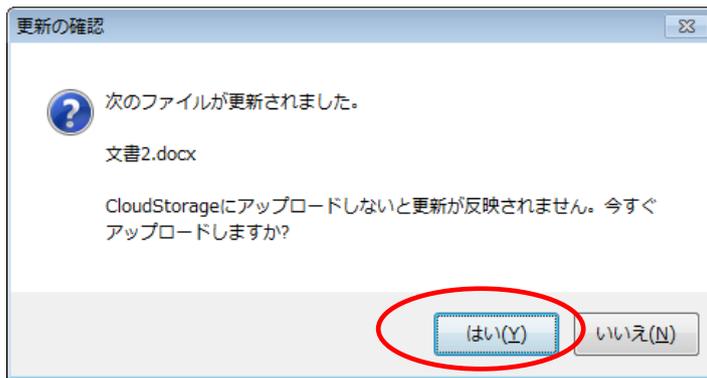
クライアントツールでクラウドストレージ上のファイルを参照・編集する際には、一時的にローカルパソコンにファイルをダウンロードしてからファイルを開くため、以下の確認画面が表示されます。

問題なければ「開く」をクリックします。



・ファイルを編集後、ファイルを閉じるか上書き保存しようとする時、「更新の確認」画面が表示されます。

編集した内容をクラウドストレージ上のファイルにも反映させる場合には、「はい」を選択します。



※Microsoft Office ファイルを直接開いて編集できるようにしたい場合は、[「1.9 Microsoft Office ファイルを直接編集したい」](#)をご参照ください。



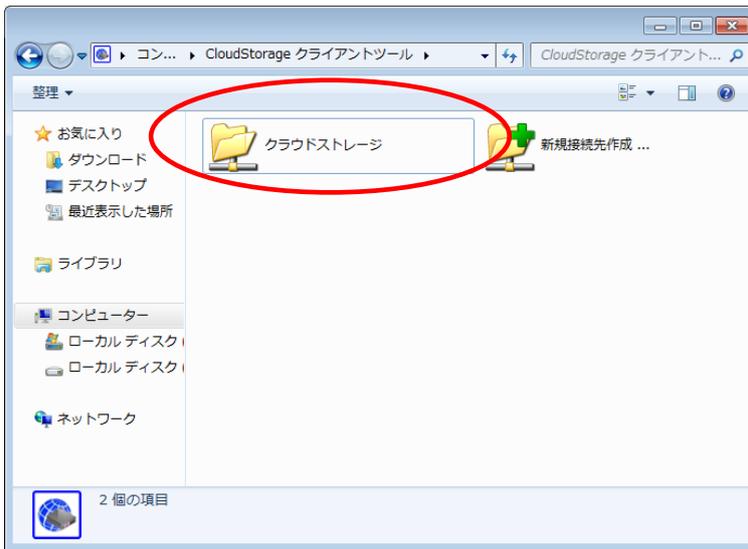
注意事項

- ・クラウドストレージ上のファイルを編集、または削除した場合、編集・削除される前の状態に戻すことはできません（バージョン管理機能利用時を除く）ので、編集・削除を行う際はご注意ください。
- ・クライアントツールでは、一旦ローカルパソコンにファイルをダウンロードして編集した後、クラウドストレージへファイルをアップロード（上書き）しますので、クラウドストレージのグループフォルダなど、複数の利用者が参照・更新をする可能性のあるフォルダ内のファイルを編集する場合、編集中に他のユーザが同じファイルを更新していると、その更新が反映されなくなる場合がありますのでご注意ください。

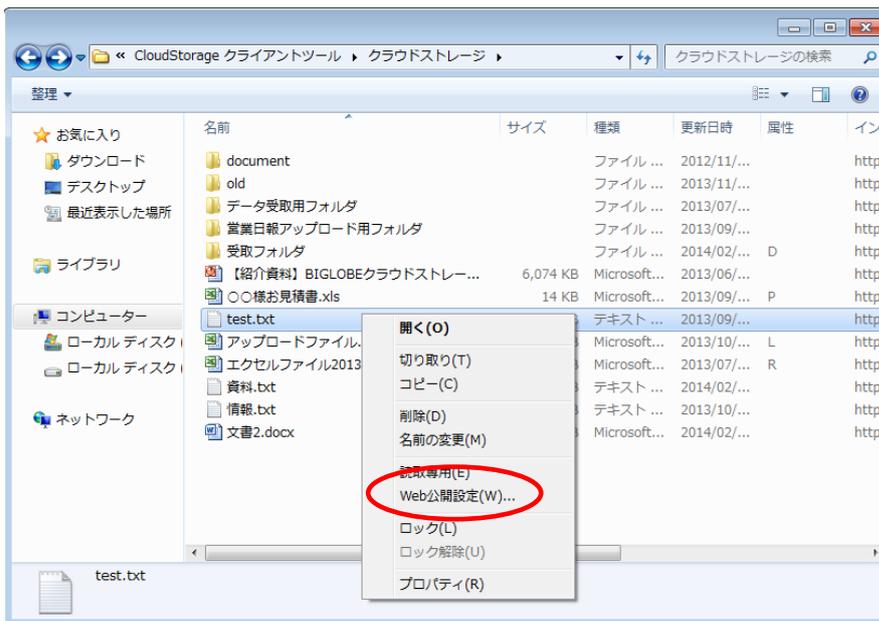
2.2 WEB 公開したい/WEB 公開を停止したい

クライアントツールから Web 公開の設定・停止が可能です。

- ・接続したい接続先をダブルクリックします。



- ・Web 公開したいフォルダ、もしくはファイルを選択の上、右クリックして表示されるメニューから「Web 公開設定」を選択します。



・「Web 公開設定」画面が表示されますので、設定したい項目のチェックボックスにチェックをし、以下の項目を入力します。

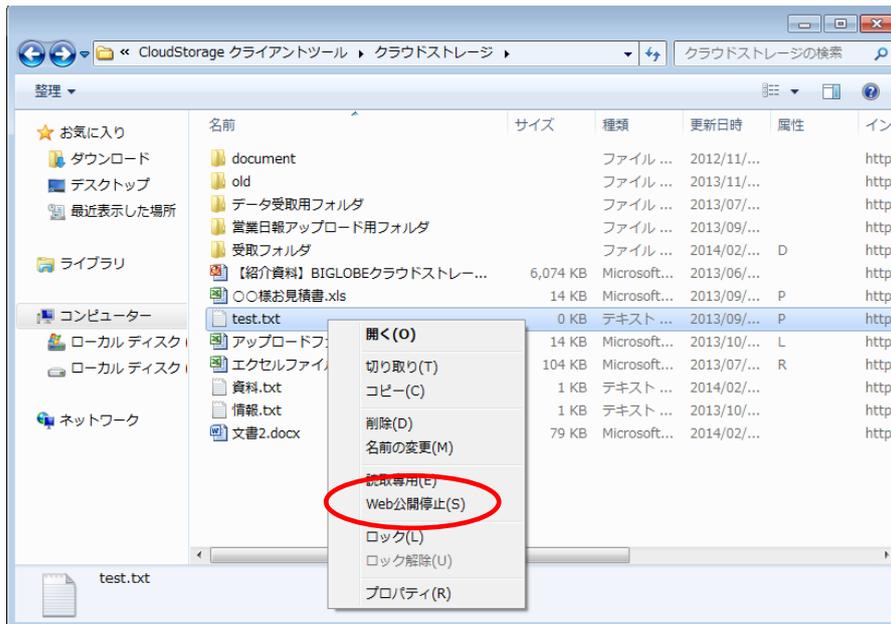
項目	説明
ダウンロード回数制限	ダウンロード可能回数を設定します。1～9999 までで設定してください。
公開期限	いつまで公開するかを設定できます。設定した日の 24 時で公開が停止されます。
公開パスワード	任意に入力することも「パスワード自動生成」ボタンにより、ランダムに作成することもできます。
ダウンロードされたらメールで通知	ファイルがダウンロードされたら、メールで通知することができます。メールのあて先は、Web 公開設定をしたユーザ ID に設定されているメールアドレスです。
公開コメント	Web 公開画面の上部にあるコメント欄に表示されるコメントを入力することができます。

- ・必要事項を入力後、「OK」をクリックすると、Web 公開されます。

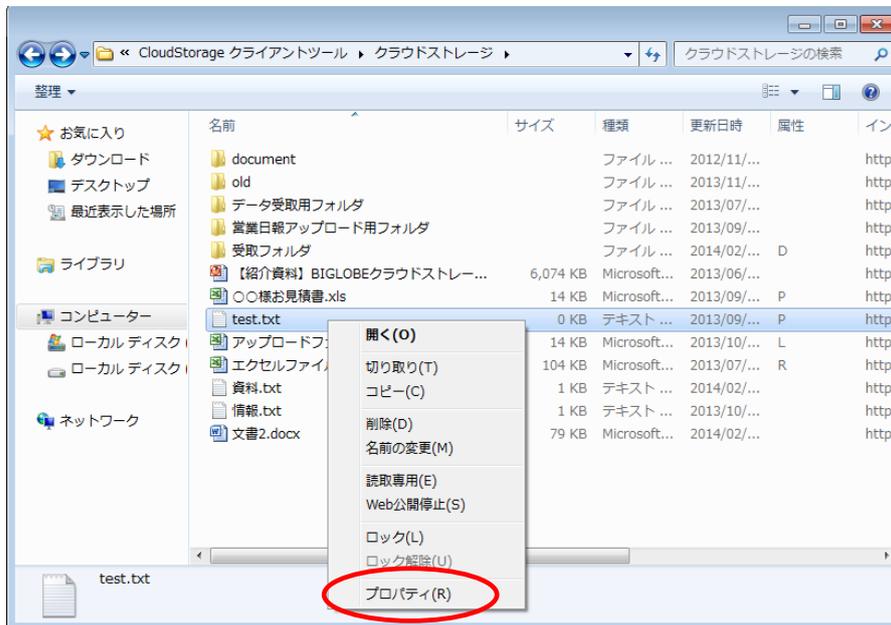
「クリップボードにコピー」をクリックすると、Web 公開 URL をコピーできます。また、表示されている URL をクリックすると、ブラウザへ Web 公開画面が表示されます。



- ・ Web 公開を停止したいフォルダ、もしくはファイルを選択の上、右クリックして表示されるメニューから「Web 公開停止」を選択すると、Web 公開が停止されます。

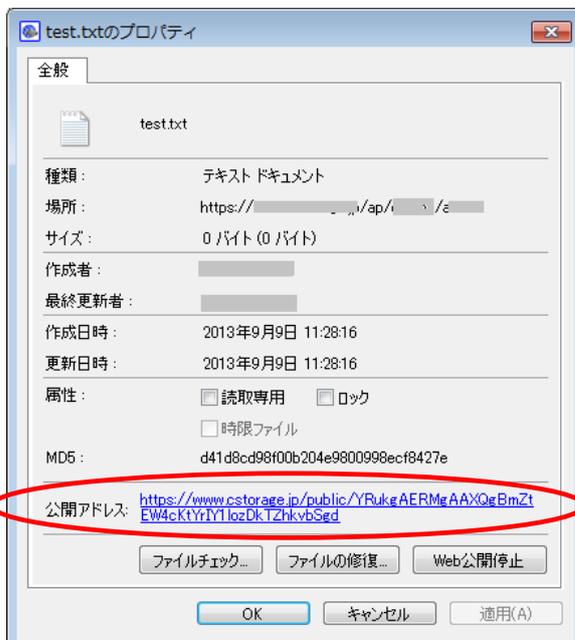


- ・作成済みの Web 公開 URL を確認するには、確認したいフォルダ、もしくはファイルを選択の上、右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」を選択します。



- ・表示されたプロパティの「公開アドレス」にて Web 公開 URL が確認できます。

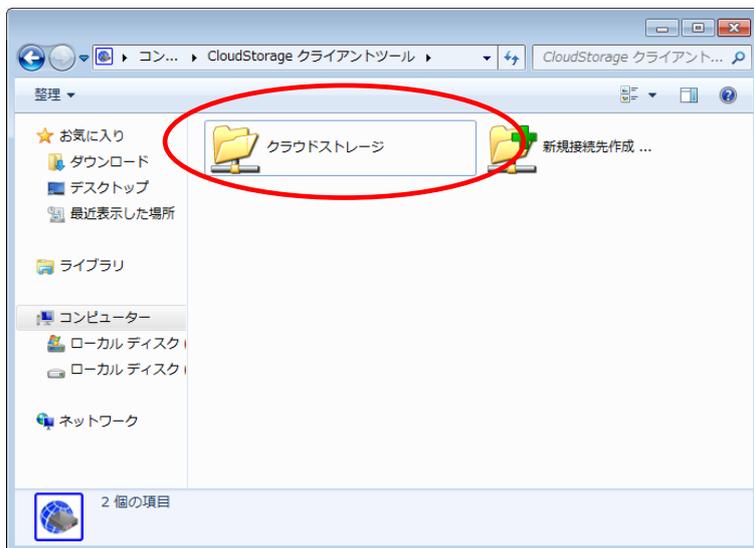
また、この画面で Web 公開を停止することもできます。



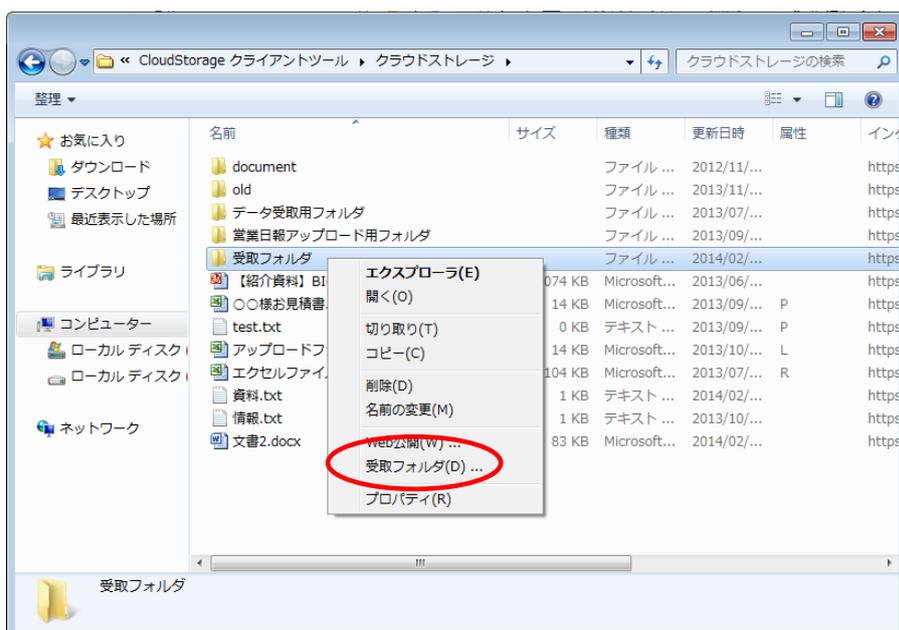
2.3 受取フォルダを作成したい/受取フォルダを停止したい

クライアントツールから受取フォルダの設定・停止が可能です。

- ・接続したい接続先をダブルクリックします。



- ・受取フォルダを設定したいフォルダを選択の上、右クリックして表示されるメニューから「受取フォルダ」を選択します。



- ・「受取フォルダ設定」画面が表示されますので、設定したい項目のチェックボックスにチェックをし、以下の項目

を入力します。

受取フォルダ設定

アップロード回数制限 10 回

公開期限: 2014/04/01

公開パスワード: XoPmD0rUWw1w

アップロードされたらメールで通知

アップロードファイル非表示

公開コメント

OK キャンセル

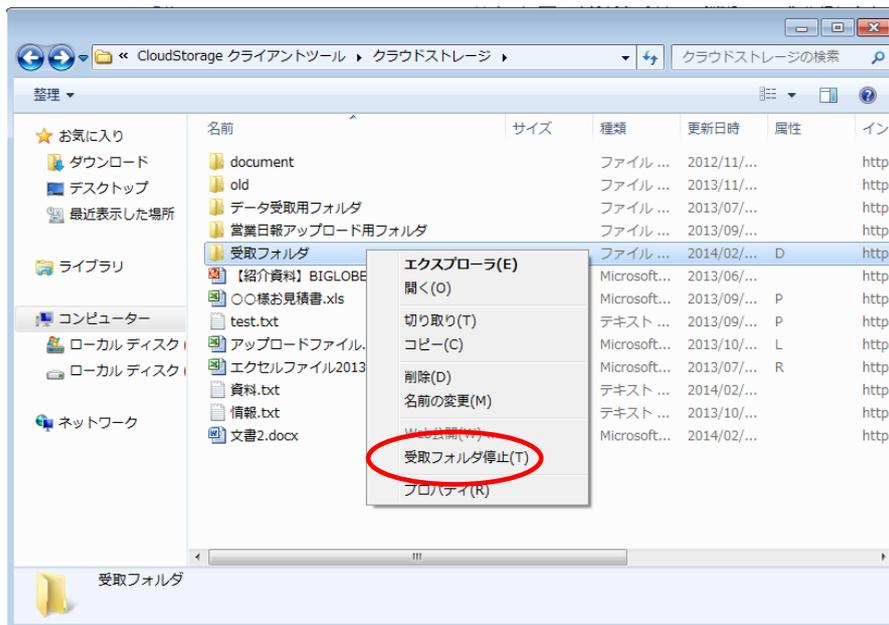
項目	説明
ダウンロード回数制限	ダウンロード可能回数を設定します。1～9999 までで設定してください。
公開期限	いつまで公開するかを設定できます。設定した日の 24 時で公開が停止されます。
公開パスワード	任意に入力することも「パスワード自動生成」ボタンにより、ランダムに作成することもできます。
アップロードされたらメールで通知	ファイルがアップロードされたら、メールで通知することができます。メールのあて先は、受取フォルダ設定をしたユーザ ID に設定されているメールアドレスです。
サブフォルダを表示しない	チェックをすると、受取フォルダにアクセスしてもフォルダ内にあるサブフォルダは表示されません。
公開コメント	受取フォルダ画面の上部にあるコメント欄に表示されるコメントを入力することができます。

・必要事項を入力後、「OK」をクリックすると、受取フォルダが作成されます。

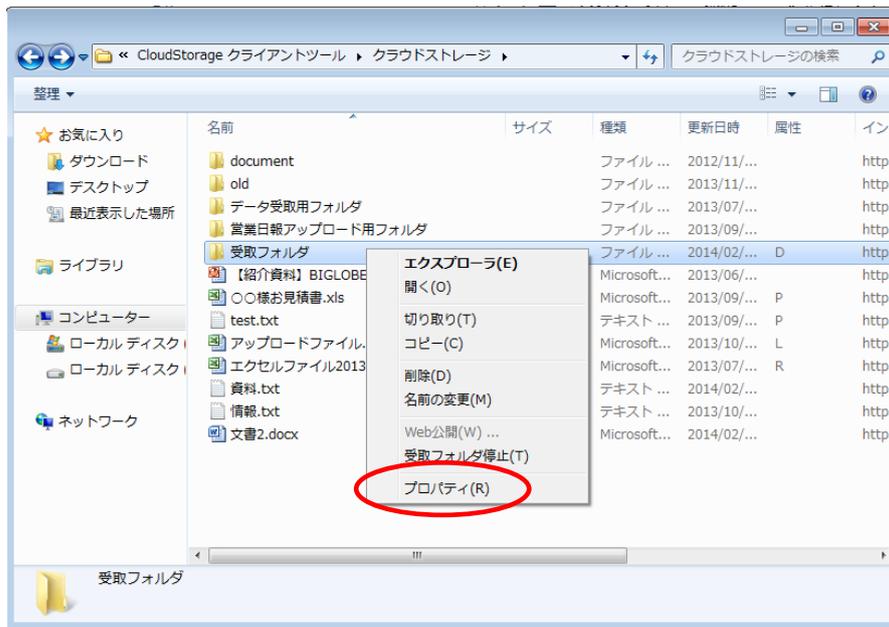
「クリップボードにコピー」をクリックすると、受取フォルダ URL をコピーできます。また、表示されている URL をクリックすると、ブラウザで受取フォルダが表示されます。



- ・受取フォルダを停止したいフォルダを選択の上、右クリックして表示されるメニューから「受取フォルダ停止」を選択すると、受取フォルダが停止されます。

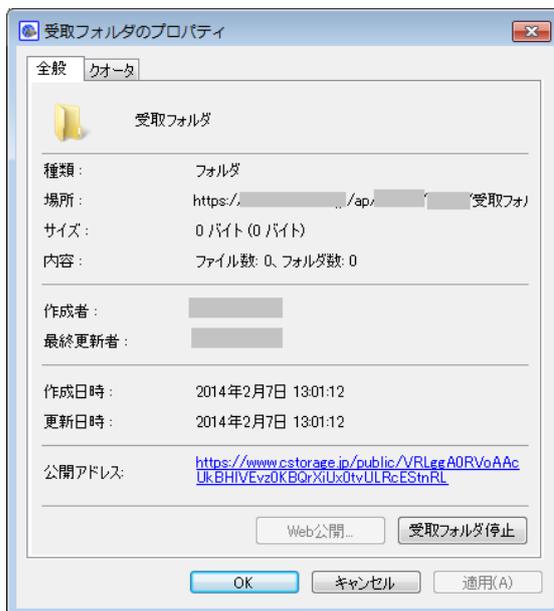


- ・作成済みの受取フォルダ URL を確認するには、確認したいフォルダ選択の上、右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」を選択します。



・表示されたプロパティの「公開アドレス」にて受取フォルダ URL が確認できます。

また、この画面で受取フォルダを停止することもできます。

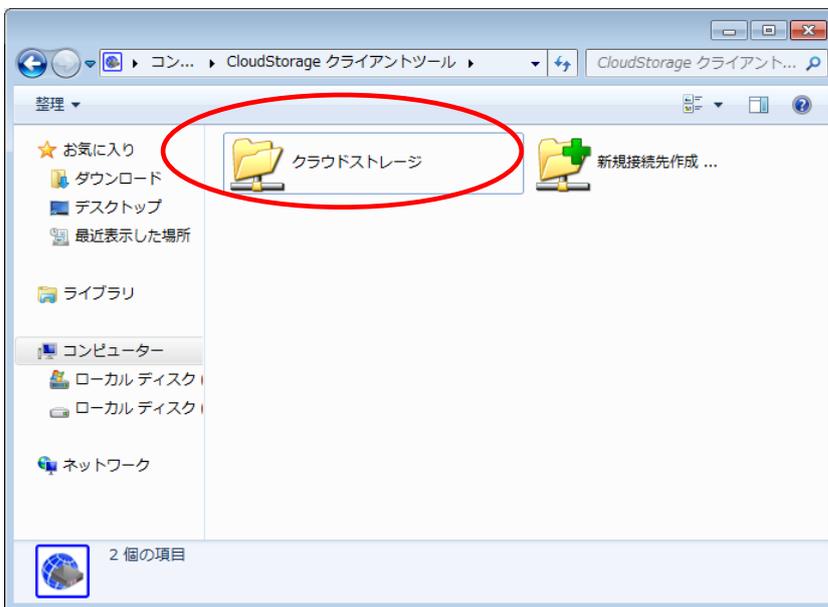


2.4 ファイルを読取専用にしたい/読取専用を解除したい

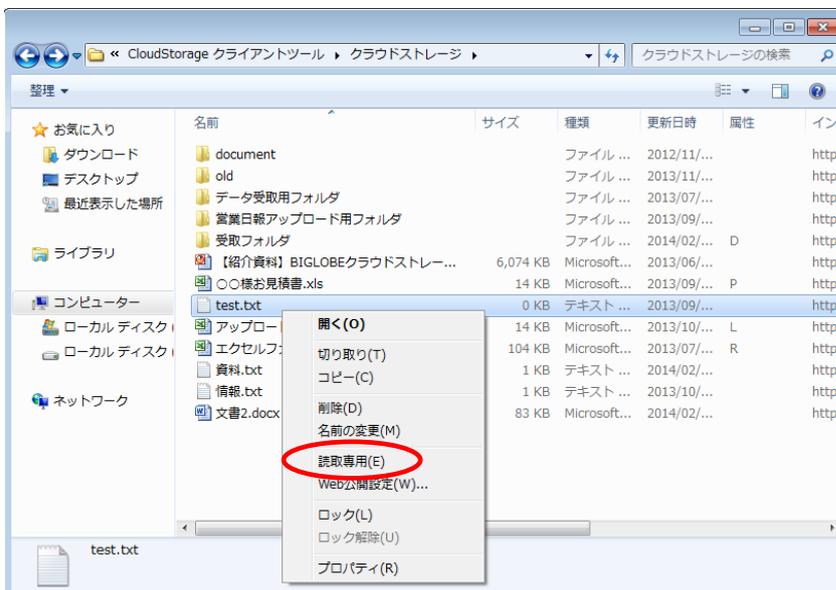
クライアントツールでファイルを読取専用にしたり、読取専用を解除したりすることができます。

ファイルを「読取専用」にすると読取専用に設定したユーザもファイルを更新できなくなります。

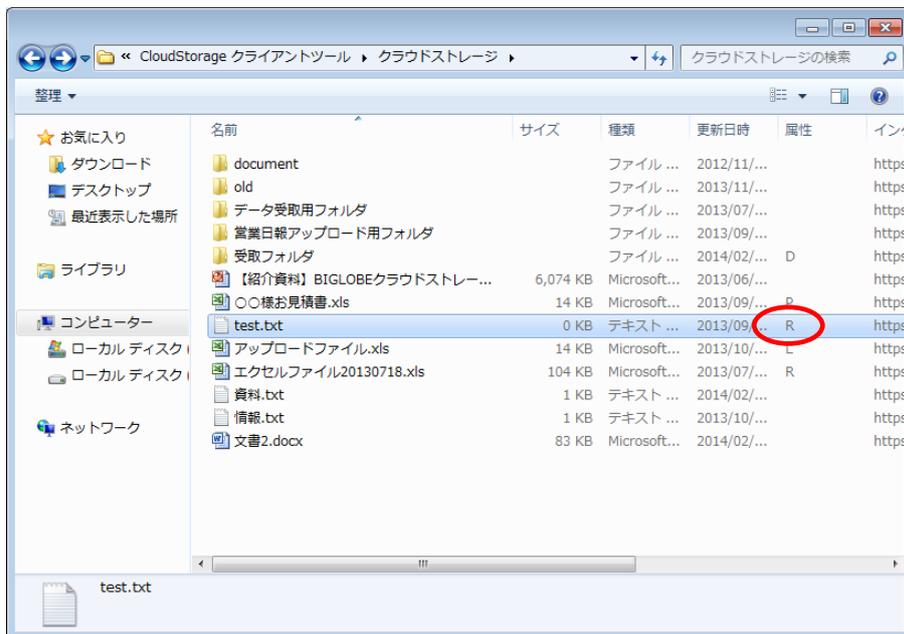
- ・接続したい接続先をダブルクリックします。



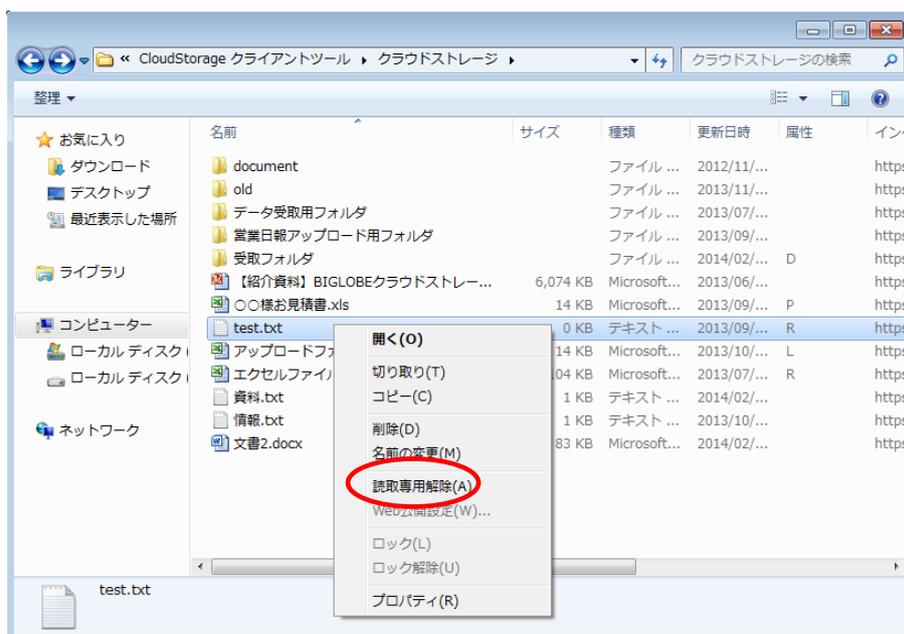
- ・読取専用にしたいファイルを選択の上、右クリックして表示されるメニューから「読取専用」を選択します。



- ・ 読取専用ファイルになると、ファイルの属性情報が「R」になります。

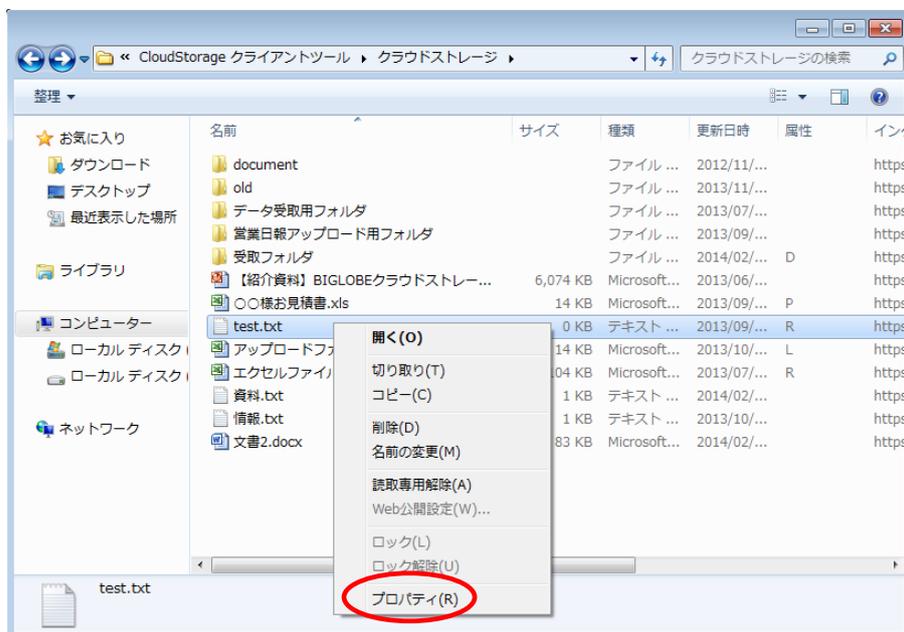


- ・ 読取専用を解除したい場合、読取専用設定されているファイルを選択の上、右クリックして表示されるメニューから「読取専用解除」を選択します。

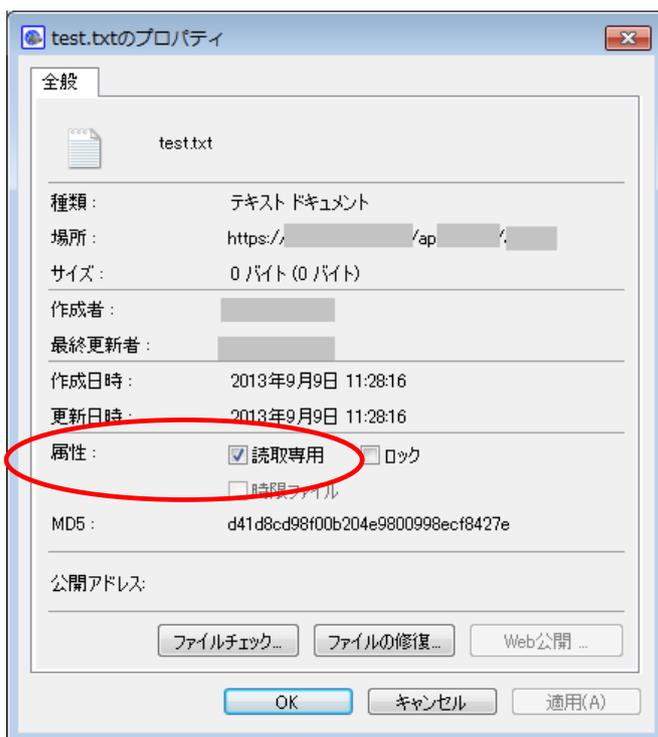


- ・ファイルのプロパティからも読取専用設定/解除が可能です。

読取専用ファイルを選択の上、右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」を選択します。



- ・「属性」の「読取専用」チェックボックスにチェックをつけると、読取専用ファイルとなり、チェックを外すと読取専用を解除できます。

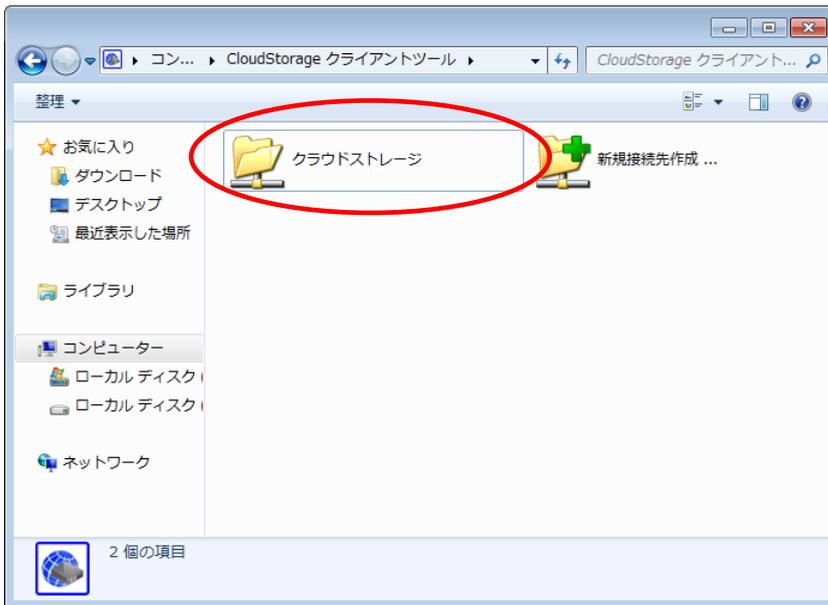


2.5 ファイルをロックしたい/ロックを解除したい

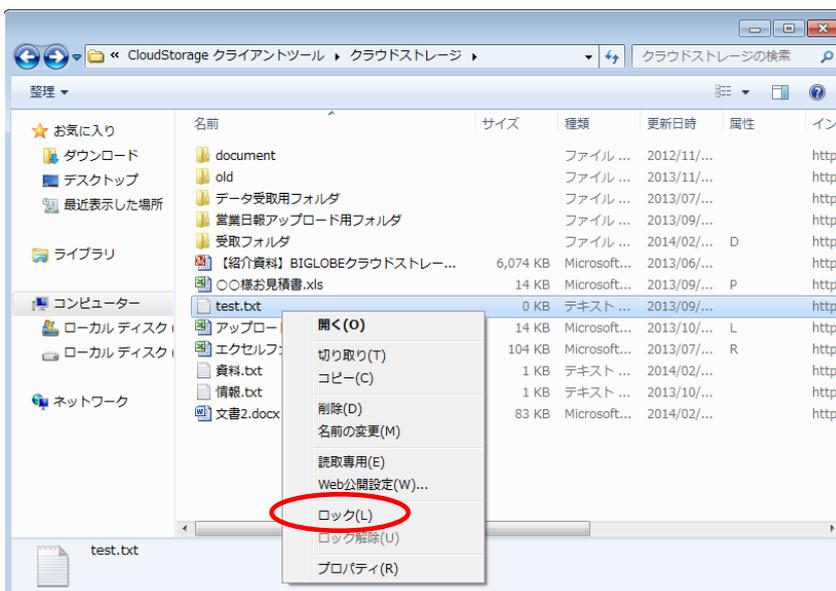
クライアントツールでファイルをロックしたり、ロックを解除したりすることができます。

ファイルを「ロック」にするとロックに設定したユーザ以外はファイルを更新できなくなります。

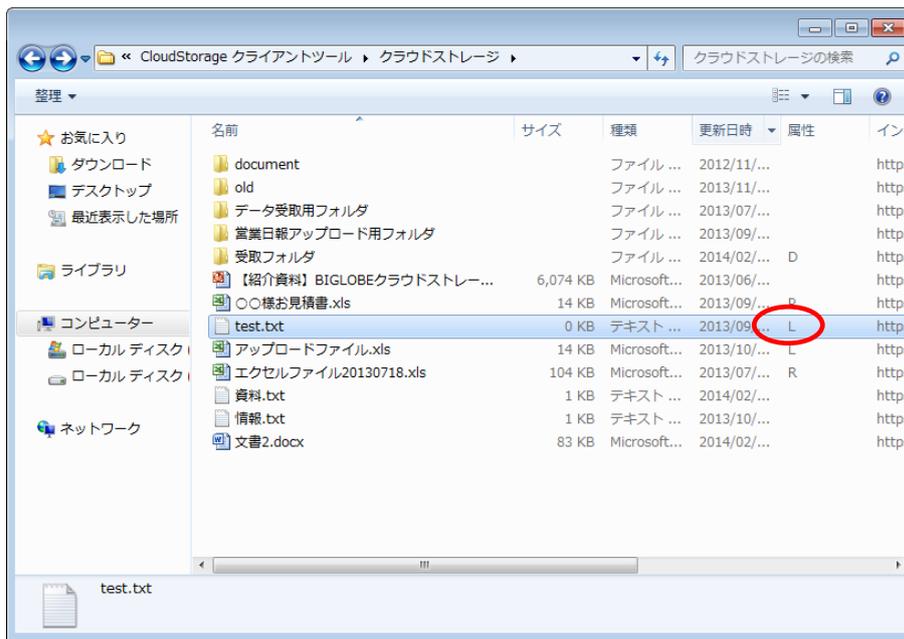
- ・接続したい接続先をダブルクリックします。



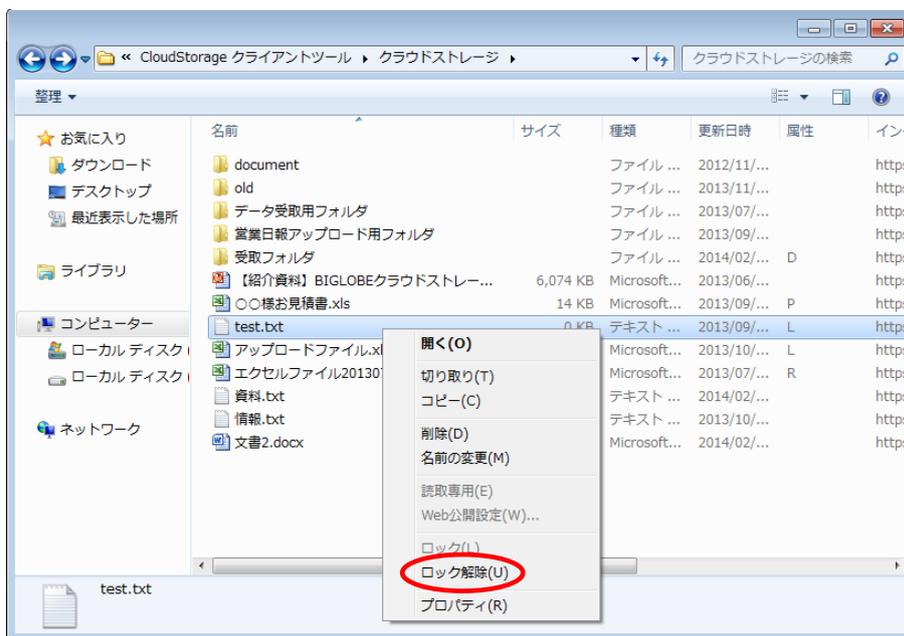
- ・ロックしたいファイルを選択の上、右クリックして表示されるメニューから「ロック」を選択します。



- ・ロックファイルになると、ファイルの属性情報が「L」になります。

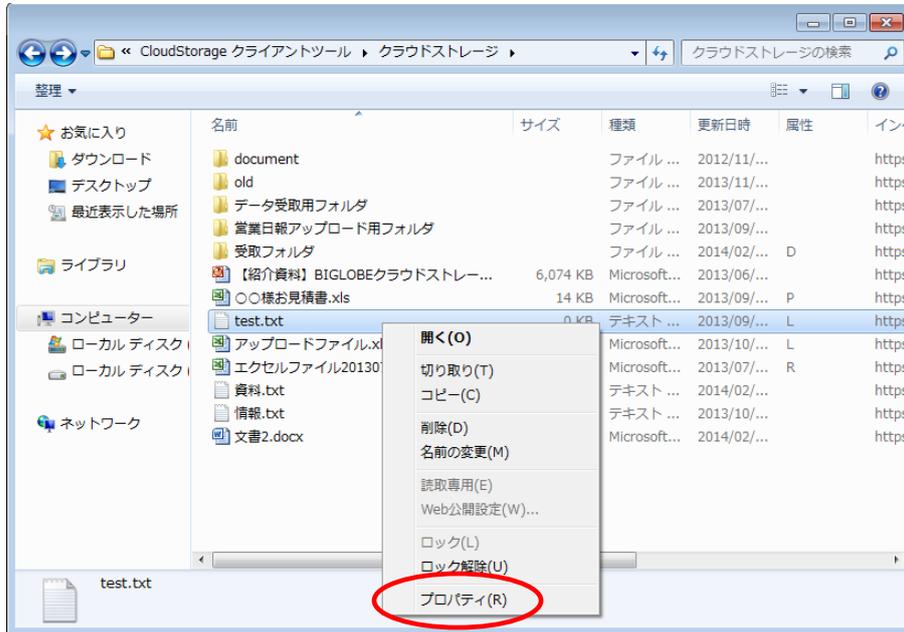


- ・ロックを解除したい場合、ロック設定されているファイルを選択の上、右クリックして表示されるメニューから「ロック解除」を選択します。

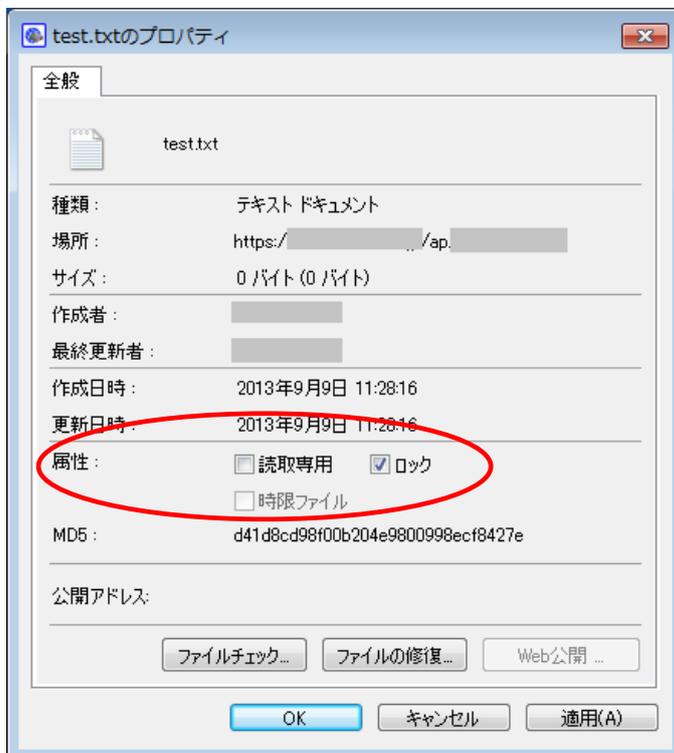


- ・ファイルのプロパティからもロック設定/解除が可能です。

ロックファイルを選択の上、右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」を選択します。



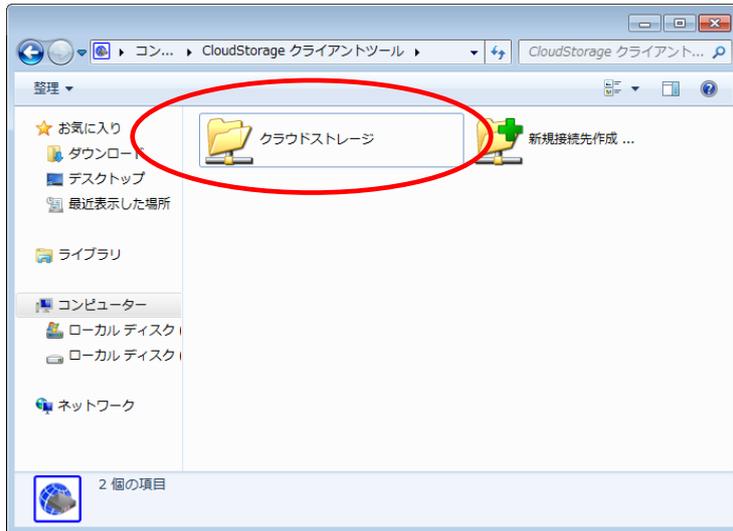
- ・「属性」の「ロック」チェックボックスにチェックをつけると、ロックファイルとなり、チェックを外すとロックを解除できます。



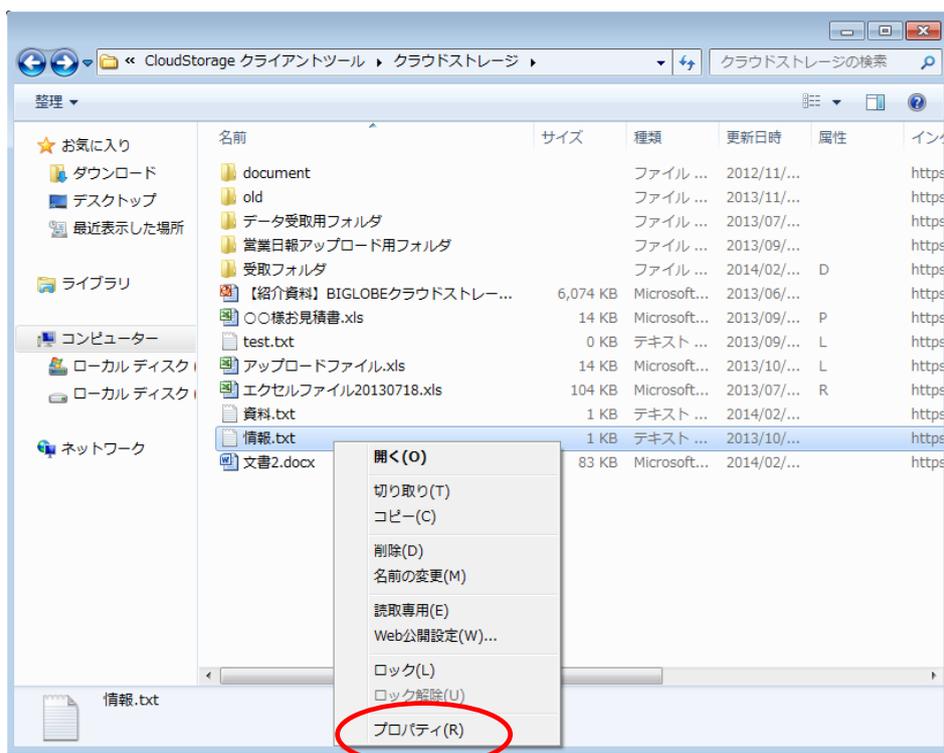
2.6 ファイル（フォルダ）設定情報を確認したい

クライアントツールからファイル（フォルダ）の設定情報を確認できます。

- ・接続したい接続先をダブルクリックします。



- ・設定情報を確認したいファイル（フォルダ）を選択の上、右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」を選択します。



- ・ファイル（フォルダ）の設定情報を確認できます。

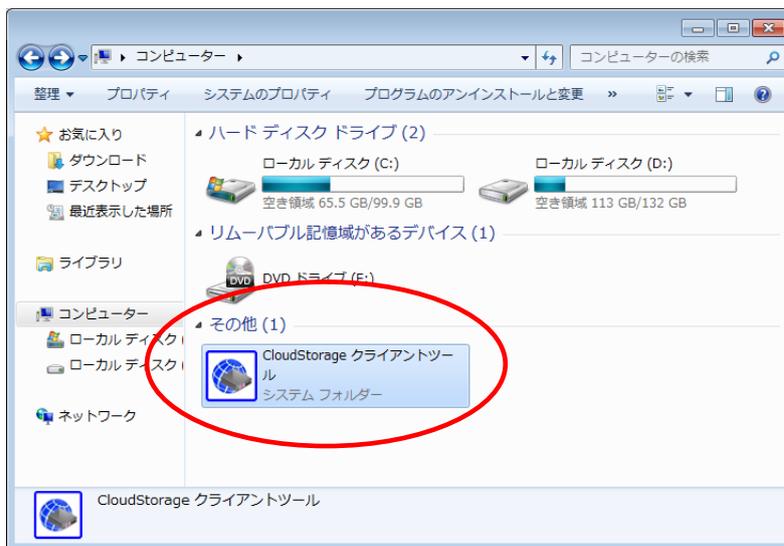


3 その他

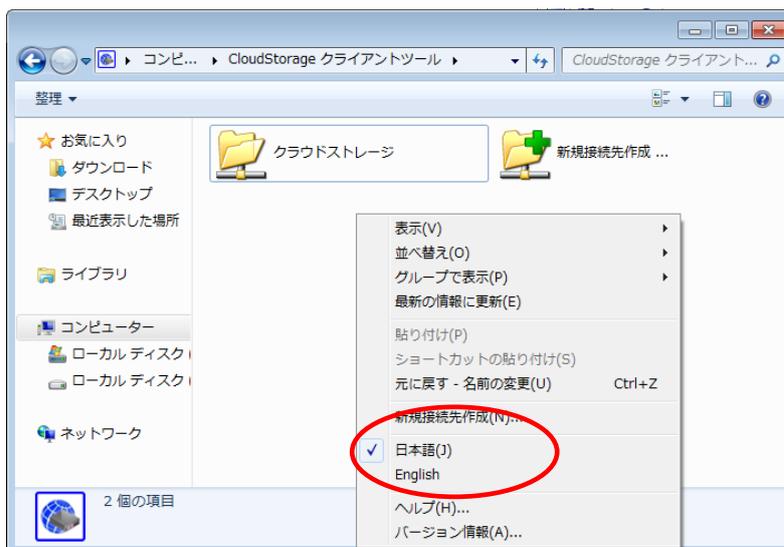
3.1 表示言語（英語・日本語）を変更したい

表示言語を日本語（初期値）から英語に変更することができます。

- ・「スタート」 → 「コンピューター」 → その他「CloudStorage クライアントツール」をダブルクリックします。

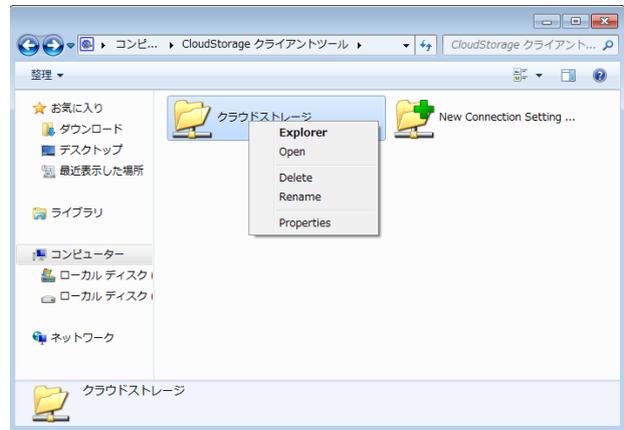
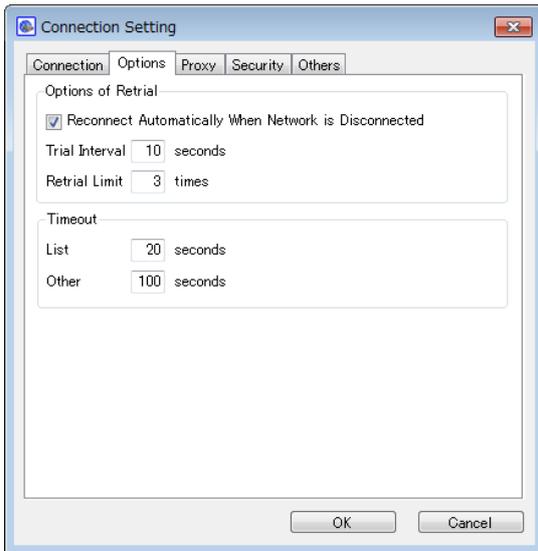


- ・接続先以外の領域で右クリックし、メニューから「English」を選択します。



- ・次にメニューを表示させると、英語表記に変更されています。

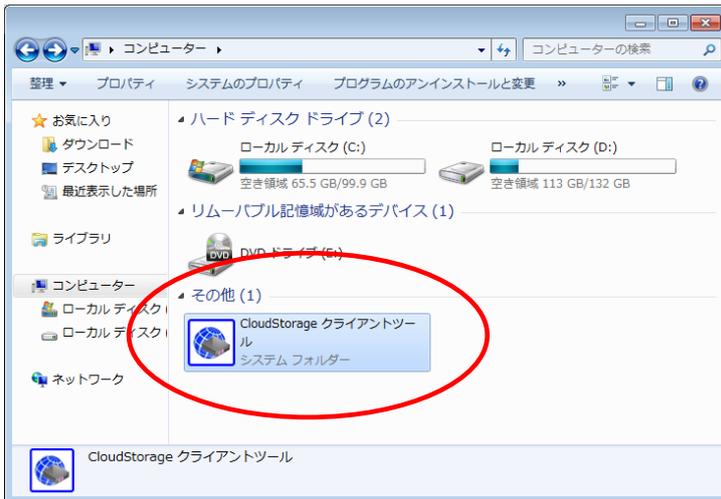
(ヘルプは日本語表記のみです)



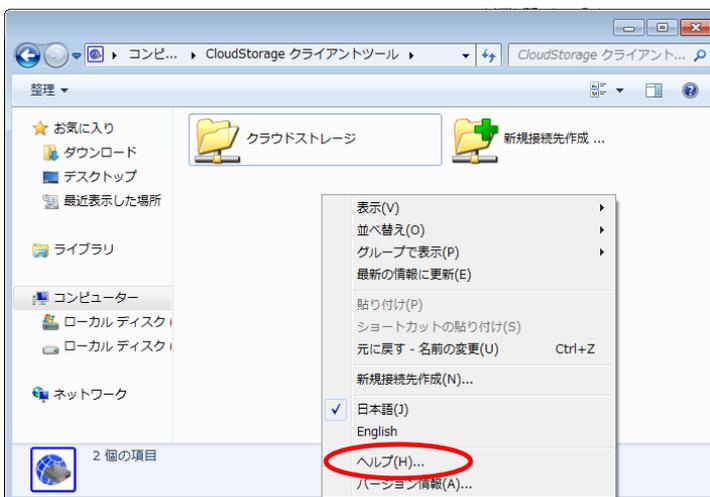
3.2 ヘルプを表示させたい

使い方に迷った時や機能について知りたいときに、ヘルプを表示させることができます。

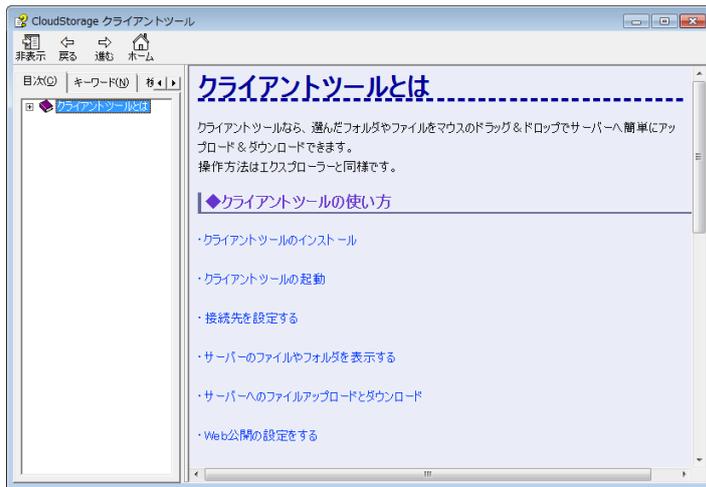
- ・「スタート」→「コンピューター」→その他「CloudStorage クライアントツール」をダブルクリックします。



- ・接続先以外の領域で右クリックし、メニューから「ヘルプ」を選択します。



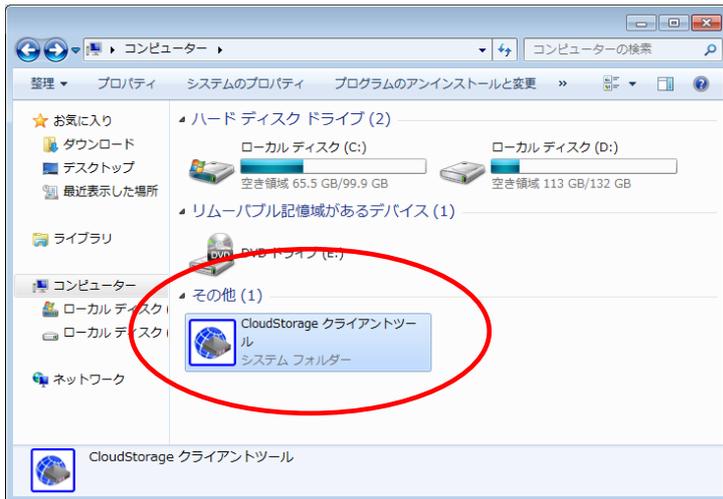
- ・ヘルプが表示されます。



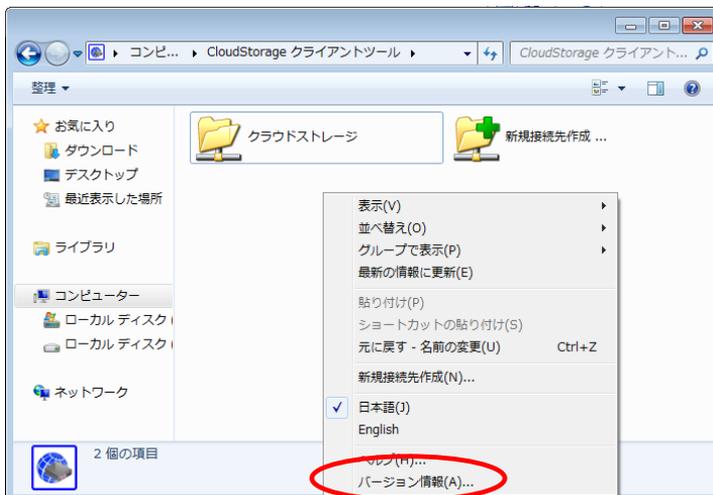
3.3 バージョン情報を確認したい

バージョン情報を確認することができます。

- ・「スタート」→「コンピューター」→その他「CloudStorage クライアントツール」をダブルクリックします。



- ・接続先以外の領域で右クリックし、メニューから「バージョン情報」を選択します。



- ・バージョン情報が表示されます。

以上

発行元：ビッグローブ株式会社

- ・ 本書の内容の一部または全部を無断転載・複製・改変することを禁じます。
- ・ 本サービスの仕様、および本書に記載している内容は、2019年9月時点の情報を元に作成しています。今後、予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 本書に記載されている会社名、商標名等は、各会社の商号、商標または商標登録です。

(C)BIGLOBE Inc. 2019